

JCCA

Japan Civil Engineering Consultants Association

ズーム イン ちゅうぶ
図夢in中部

2024 Vol. 53

国道23号中勢バイパス
全線開通



一般社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部

描 け ま す、 あ な た の 夢 を



協会コンセプト

協会会員は、豊かな未来に向けて
今なにをすべきか、
専門的知識を持って、
具現化のアシスタントを
いたします

C O N T E N T S

図夢in中部 Vol.53

目 次

1 巻頭言	
副支部長	1
2 特集	
国道23号中勢バイパス全線開通	2
3 投稿	
入庁から3年を振り返って	8
未来を担う若手職員の取組	8
土木遺産と建設コンサルタントに求めること	8
入社4年目になって	10
1年目を振り返って	10
建設環境分野の調査業務に携わって思うこと	10
4 支部会員会社紹介	12
5 協会活動紹介	14
6 会員名簿一覧	28
7 事務局だより	30
8 編集後記	31

— 構想力を磨こう —

一般社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部
副支部長 高楊 裕幸



令和6年正月に発生した能登半島地震により、亡くなられた方々に心よりお悔みを申し上げます。また、被災された皆様に深くお見舞いを申し上げます。

我々建設コンサルタント技術者にとって、自然災害に対する準備や復旧・復興事業は、最も重要かつ緊急の使命であります。しかし今回、道路啓開などの事前計画および進捗にも課題があり、救援・復旧の初期活動が遅れたとの意見も聞こえ、改めて事前計画の重要性を痛感しました。一方で、復旧事業には中部地域からも多くの仲間が調査・計画・設計作業等に参加・活躍し、被災地の1日も早い再建に向けて真摯に対応を続けています。この姿は、我々の仕事が社会貢献に直結する尊いものであることを、改めて社会に示すことになりました。

100年前の関東大震災では、後藤新平が5年の歳月をかけて陣頭指揮し、防災のみならず景観などにも配慮した復興計画を“事前に”準備していたことで、首都東京の骨格を計画的に復旧・復興できたことは周知の事です。

来る南海トラフ地震に備え、関連自治体は個々に事前復興の姿を描いておられますが、ぜひ国土交通省には、巨視的視野で中部エリアを連携する「未来を描く復興計画」を改めて準備して頂きたいと思ひます。そして、その計画に我々の技術と知識・経験を活用頂くことをお願いしたいと思ひます。

現在、建設コンサルタンツ協会中部支部では、2050年を見据えた国土づくり(国土交通省)の目標でもある「真の豊かさ」を実感できる国土の形成をコンセプトとした『中部圏イ

ンフラ整備構想』を検討中です。

この構想は、「安全・安心の確保」「産業基盤の進化」「持続可能な地域社会の形成」を基本方針に掲げ、①全国と連動する中部圏、②経済の好循環を支える名古屋圏、③魅力豊かな地域生活圏、の3つに着目区分し、各々将来像の具体化を試みます。その際の前提として「経済成長」は社会資本整備に責任を持つ我々の共通する願いではありますが、災害頻発や少子高齢化の先鞭となる我が国において、またSDGsへの貢献・対応が世界的にも求められる近未来に対して、将来構想に夢だけを語る訳には参りません。

例えば、前述した災害時の復興計画、すなわち従来の延長線上に無い、新しい地域連携や生活様式をイメージすること。車が空を飛ぶ時代のインフラ施設の在り方を見据えること。物資の運搬や人の移動の簡便化に伴い、現在の交通結節点の利便性感覚や土地の価値が大幅に変化(地域格差の縮小/地方有利)すること。等々、新たな生活環境において、人々が感じる「真の豊かさ」も変化する事を踏まえた、中部ならではの構想を提示したいと考えます。また更に、それを見据えた準備や開発を、我々建設コンサルタントが先んじて進める必要があると思ひます。

時代の変化や社会の課題と向き合い、5年10年後、そして25年後(2050年)を見据え、先を見越した対応・準備をする構想力・技術力が、我々建設コンサルタントには求められています。革新と適応を繰り返しながら、今後も社会に貢献して参りましょう。

国道23号中勢バイパス全線開通

国土交通省 三重河川国道事務所長 ときおか としかず
時岡 利和



1 はじめに

三重河川国道事務所は、三重県内北・中部の河川4水系、道路4路線を所管しています。このうち、道路事業として国道23号の改築と、国道1号、23号、25号、258号の維持修繕、交通安全対策、電線共同溝整備並びに道路管理事業を推進しています。

ここでは、昭和59年度に事業化し、令和5年11月に暫定2車線で全線開通した国道23号中勢バイパスについて紹介します。

2 国道23号中勢バイパスについて

(1) 地域の概要

三重県は中部地方の西端に位置し、北は木曽川、養老山脈、鈴鹿山脈によって愛知県、岐阜県、滋賀県と境を、西は高見山地、紀伊山地によって奈良県、和歌山県と境をなしています。また、東及び南は伊勢湾、熊野灘に面する長い海岸線を有し、南北に長く東西に狭い県域です。

中勢バイパスが位置する中勢地域は三重県の中央部にあって、県庁所在地の津市を中心に県の中核的な役割を果たしている地域です。県南部には歴史、文化、観光資源に恵まれた伊勢市や志摩市、更に尾鷲市や熊野市に代表される東紀州地域に繋がっています。また、県北部には四日市市に代表される工業地域を配するほか、国道1号、国道25号を経由して近畿地方に繋がっています。

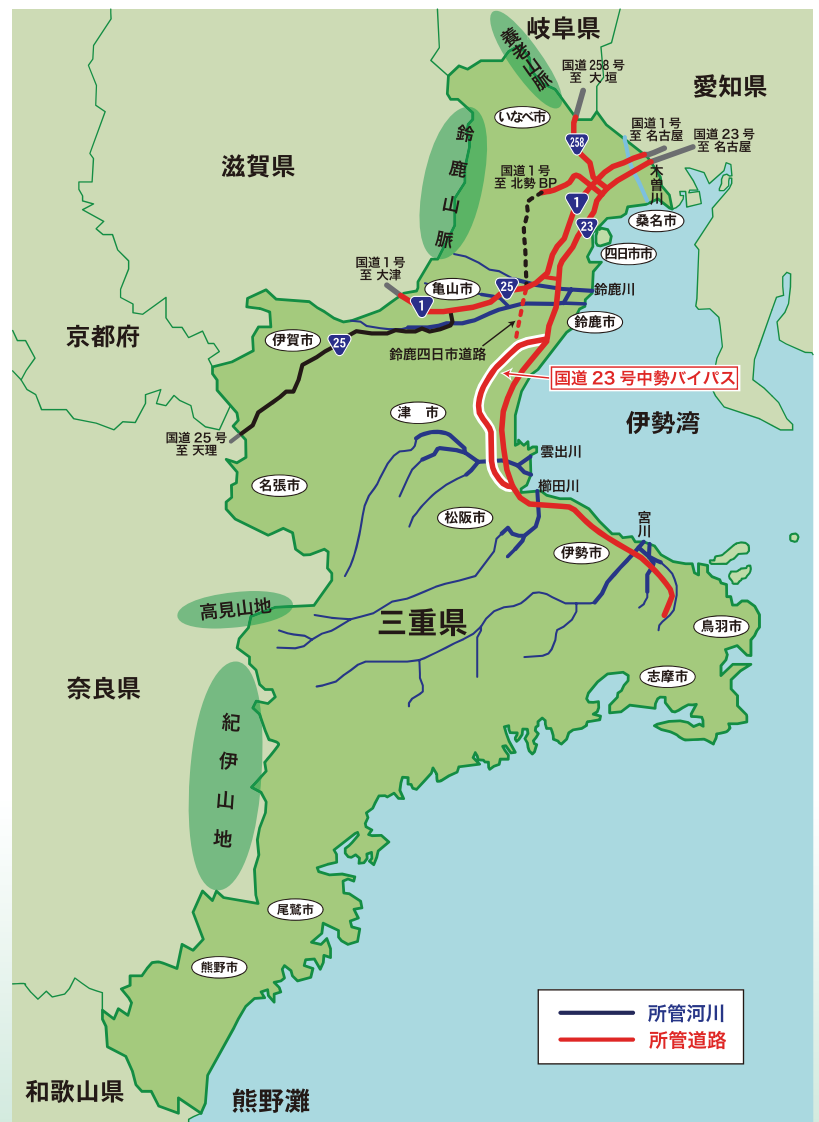


図1 三重河川国道事務所の所管と地域の概要

(2)事業のあらまし

国道23号は、三重県の南北方向を結ぶ幹線道路で、産業・観光における大動脈として、また地域の生活道路として重要な役割を果たしています。しかし、国道23号は、多方面からの交通が集中することにより、主要交差点では渋滞が発生しています。

中勢バイパスは、鈴鹿市を起点として、津市を経由し松阪市に至るバイパスで、国道23号の交通渋滞の緩和とバイパス周辺の適切な土地利用を促し、地域経済の発展に資するために計画されました。

また、国道23号は沿岸部に位置しているため、津波などによる浸水被害が懸念されますが、中勢バイパスは内陸部に位置することから、災害時の救援、復旧活動を支援し、防災・減災に大きく寄与することが期待されています。



写真1 国道23号の渋滞状況



写真2 国道23号の冠水状況

(3)道路計画の概要

- ・事業区間：鈴鹿市北玉垣町～松阪市小津町
- ・延長：33.8km
- ・構造規格：第3種第1級
- ・車線数：4車線(暫定2車線)
- ・設計速度：80km/h(暫定60km/h)

(単位:m)

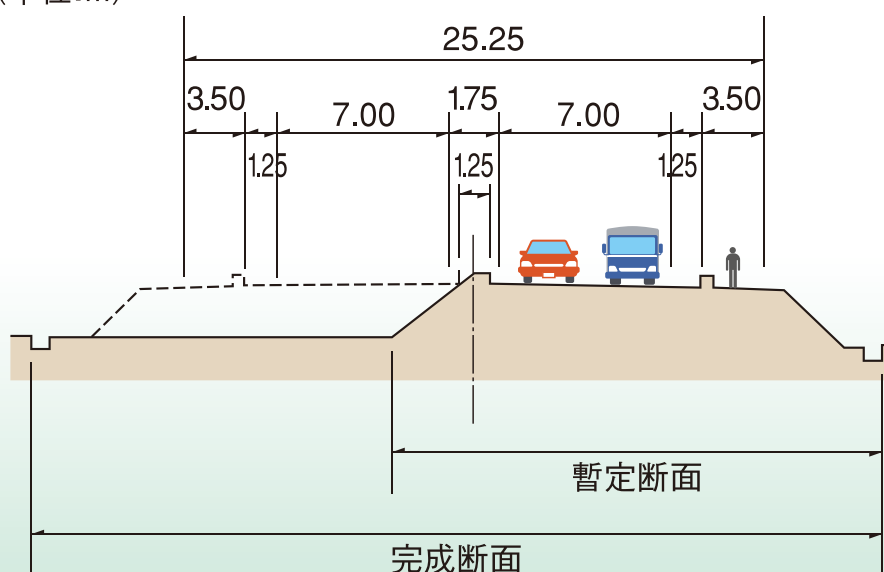


図2 標準断面図

(4)事業の経緯

中勢バイパスは、延長33.8kmと範囲が広いことから、各工区周辺の開発計画や渋滞解消など地域状況を勘案し、より整備効果の高い地域から順次事業化を実施しました。



図3 開通区間の状況

3 事業の効果

(1) 交通環境の改善

平成5年度からの中勢バイパスの段階的な開通に伴い、国道23号から中勢バイパスへの交通転換が進んだことで、国道23号の所要時間の短縮、交通事故の減少などの交通環境の改善が見られます。

令和5年11月に開通した、中勢バイパス鈴鹿(安塚)工区に並行する国道23号や周辺道路では交通量が減少し、中勢バイパスへの交通転換が図られています。



図4 中勢バイパス位置図

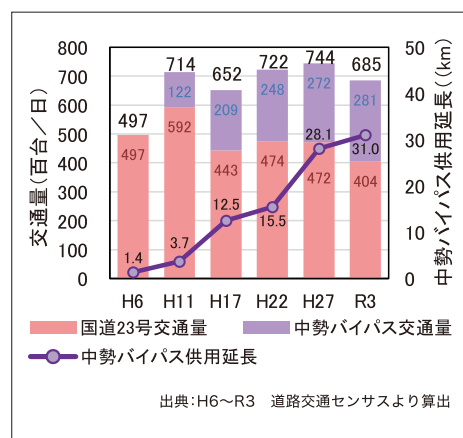


図5 交通量の推移

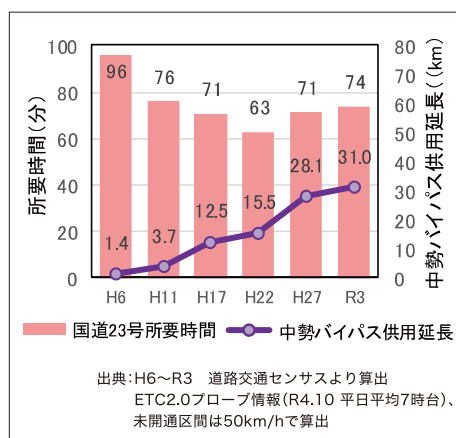


図6 中勢バイパスの供用延長と国道23号の所要時間の推移

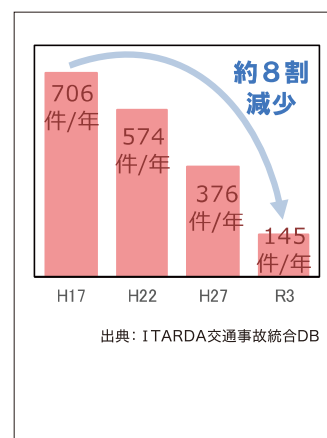


図7 国道23号の死傷事故件数の推移



図8 中勢バイパス鈴鹿(安塚)工区位置図

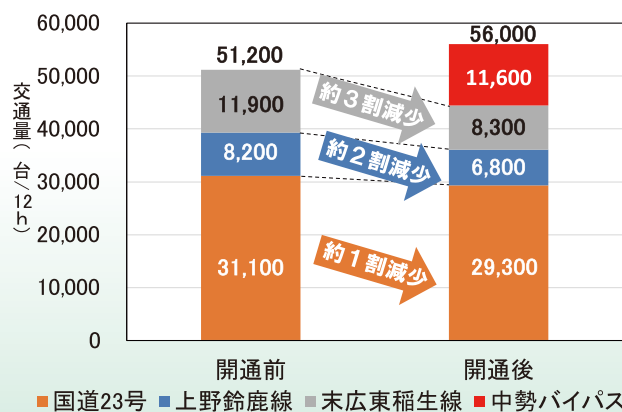


図9 中勢バイパス鈴鹿(安塚)工区開通前後の交通量的変化

(2) 中勢地域の産業支援、円滑な物流の確保

国際拠点港湾の四日市港と津・松阪市内を結ぶ物流の輸送経路は、主に国道23号及び中勢バイパスが担っています。

また、中南勢地域の流通拠点である重要港湾の津松阪港から北勢方面、愛知県方面への一般道の物流輸送経路についても主に国道23号及び中勢バイパスが担っています。

中勢バイパスの全線開通により、速達性、時間信頼性が向上し、物流ネットワークの強化、円滑な物流交通の確保が期待されます。

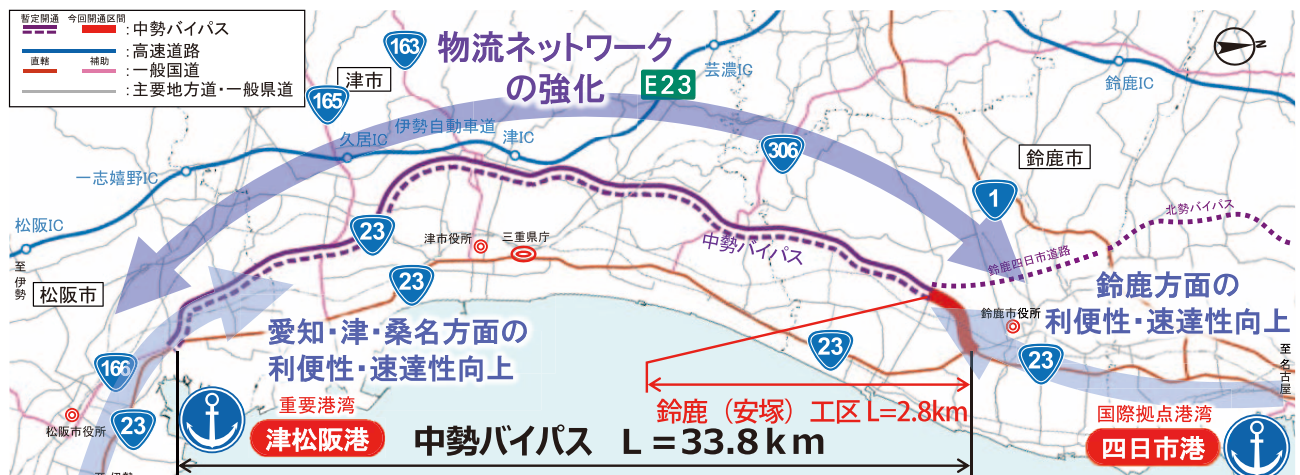


図10 物流事業者の輸送ルート

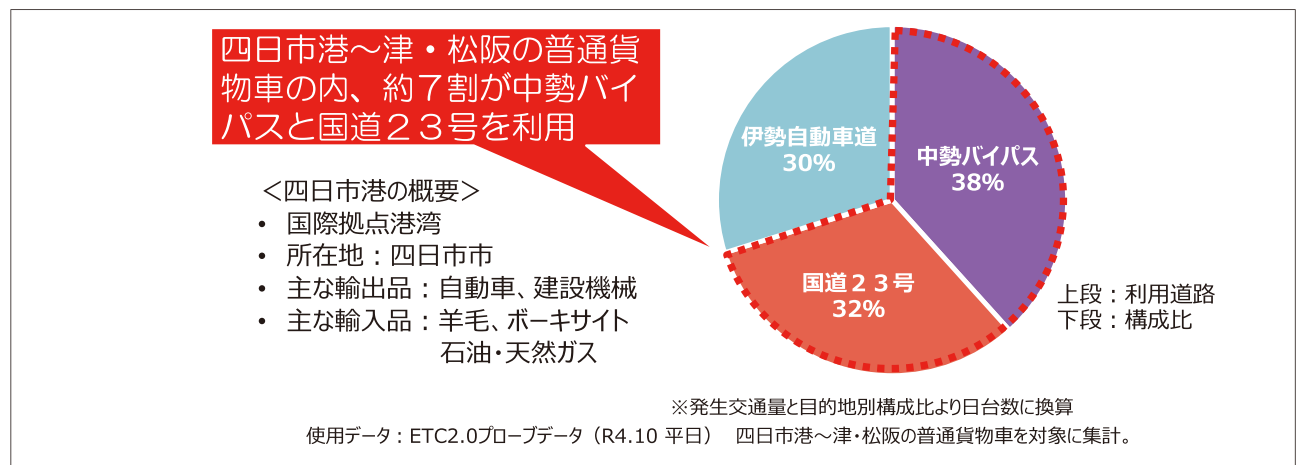


図11 四日市港～津・松阪港の普通貨物車の利用経路分担率

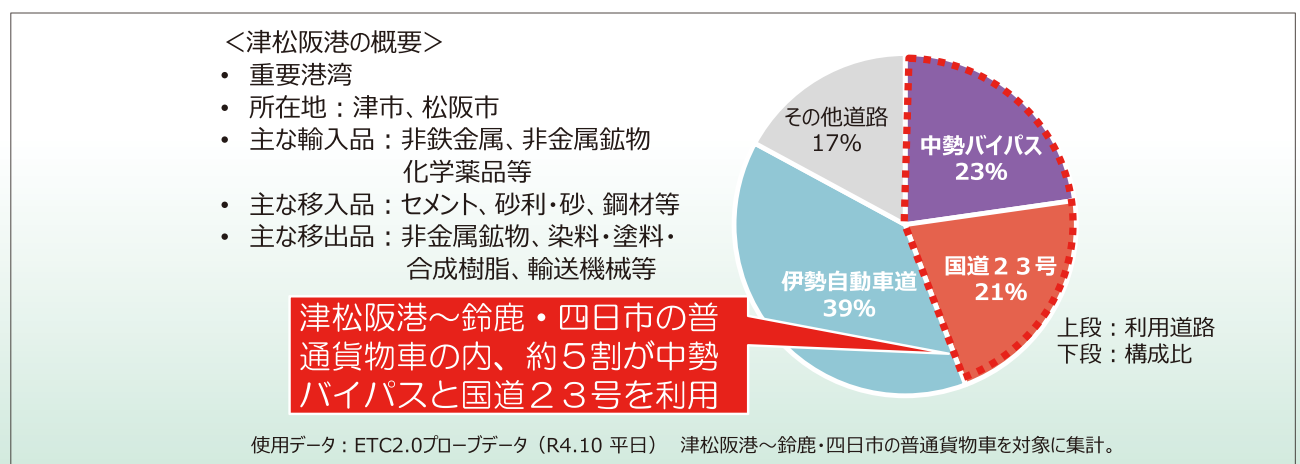


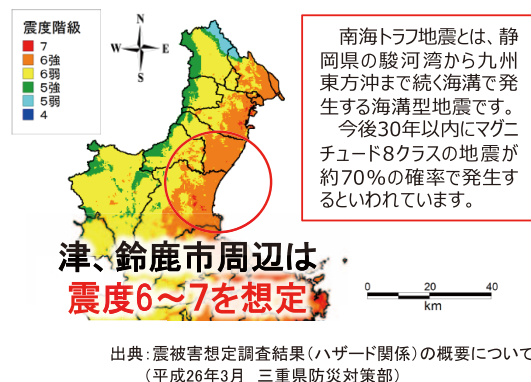
図12 津松阪港～鈴鹿・四日市の普通貨物車の利用経路分担率

(3) 災害に強い道路機能の確保

緊急輸送道路に指定されている国道23号は、三重県の沿岸部を通過しており津波による浸水被害が懸念されるとともに、津、鈴鹿市周辺は南海トラフ巨大地震発生時に震度6～7が想定されています。

中勢バイパスは、浸水エリアを回避した内陸部に位置することから、浸水被害発生時には内陸部から沿岸部への復旧活動を支援するとともに、道路ネットワークの多重性、代替性が強化されるなど災害に強い道路機能を確保します。

■ 南海トラフ巨大地震発生時の震度分布



写真：中勢バイパス(R5.2月撮影)

■ 予測津波浸水域

国・県・市 防災拠点間の広域連携強化



※1 出典：三重県HP「津波浸水予測図(平成25年度地震被害想定調査)※2について」

※2 南海トラフの理論上最大クラスの地震を想定した場合の浸水予測結果

※3 三重県緊急輸送道路ネットワーク(令和5年2月 三重県)

図1-3 災害に強い道路機能の確保

4 おわりに

事業化から約40年をかけて、無事全線開通を迎えることができました。これも、地元の皆様ならびに関係者の皆様の多大なるご理解、ご協力、お力添えの賜物です。この場を借りて、厚くお礼申し上げます。

入庁から3年を振り返って



愛知県 豊田加茂建設事務所 足助支所

岩月 一輝

愛知県庁に入庁して4年目となりました。入庁から2年間は東三河建設事務所の道路整備課に所属していました。ここでは橋梁担当として業務を行い、新設工事や補修工事、点検や設計業務など様々な内容の仕事に取り組みました。

入庁前、自分がどういう仕事内容を行うか全く予想が付きませんでしたが、橋梁担当と聞いたときにまず思ったのは難しそうということでした。社会人1年目で基本的なことを多く覚えなければならないことに加えて、橋梁の専門的な知識についても勉強する必要がありましたので毎日が勉強でした。

橋梁の新設工事は規模が多く、最初の計画から実際に完成するまでにかなり長い期間を要します。その間に携わった

未来を担う若手職員の取組



三重県 伊勢建設事務所 事業推進室

松本 達平

この度、このような機会を頂きましたので、三重県県土整備部の若手職員が中心となって取り組んでいる「県土整備部若手勉強会」「担い手確保支援チーム」と「これまでの職員生活の振り返り」について紹介させていただきたいと思います。

はじめに私も参加したことがある県土整備部若手職員が中心となった「県土整備部若手勉強会」「担い手確保支援チーム」について紹介させていただきます。

若手勉強会では、10年先の県土整備部を担う若手職員が自信と誇りをもって時代を牽引するインフラマネジメントをできるよう、提言をとりまとめ知事や県議会に提言を行っています。若手職員の能力向上を目的とし、令和2年度から総勢約50名の職員が活動しています。勉強会では、普段の業務では中々経験できない知事や県議会との意見交換、所属を越えた横断的なつながり、民間との連携、勉強会で考えた取組が実現されるということを体験することができました。

土木遺産と建設コンサルタントに求めること



株式会社 イビソク

堂園 甫

私は学生時代の6年間、歴史研究に没頭していました。歴史と建設コンサルタントは一見、文系と理系、畑違いのように感じるかもしれませんが「土木遺産」として共通点があります。例えば、約3,000年前、日本に稲作が伝来しましたが、米作りには水が必要であり、取水のために水路を作らなければなりません。これは現代の土木という農業土木にあたります。他にも現代の生活には欠かせない橋梁や道路、人々を災害から守る防波堤や堰堤など、かつての時代にそんな技術があったのかと考えられないような構造物を先人たちは設計し、施工してきました。また私の出身地である鹿児島県と弊社の所在地である岐阜県は宝暦治水と呼ばれる木曾三川の治水工事での縁があり、土木技術によって生まれた繋がりもあります。諸説ありますが、当時の薩摩藩は最先端の土

人の数を考えると様々な思いが詰められていることを感じました。私も橋梁の下部工を新設する工事の発注、監督を担当していましたが、途中で異動となってしまったので、その橋の完成がとても楽しみです。

その後、3年目の時に現在所属する豊田加茂建設事務所足助支所の維持修繕グループに異動しました。ここでは主に道路構造物の修繕、点検を行っています。工事種別は舗装、道路情報板、照明灯など内容は多種多様です。そのおかげで道路構造について、幅広い知識が身につきました。

昨年度は豪雨の関係で管内の至る所で災害があり、私も災害復旧工事を担当しました。災害工事を担当するのはこれが初めてで覚えることも多かったですが、先輩職員と相談し

ながら災害査定や工事を進め、道路が復旧できたときは達成感がありました。

これからも初めて経験することは数多くあり、勉強を重ねて自分の知識に変えるということが続くと思います。異動を繰り返すことで同じことを2回目、3回目と経験していくと思いますが、違った角度で物事を見ることができ、さらに成長できる機会だと思うので、この先の日々すべてが勉強の連続ということを忘れずに過ごしていきたいと思います。

「担い手確保支援チーム」では、建設業全体の担い手確保、建設業の魅力発信を若手職員、建設業協会、高校と連携し取り組んでいます。高校の授業で説明させていただく機会があったのですが、わかりやすく伝えるにはどうしたらよいか、堅苦しくせずおもしろくしたいと考えたことにより資料作成やプレゼン能力向上のよい機会となりました。

最近では、現在のメンバーの企画で三重高校ダンス部と建設業協会松阪支部、県土整備部がコラボし、建設業の魅力を発信するダンス動画を作成しYouTube等で公開していますので、ぜひご覧ください。

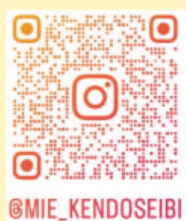
公共事業では、事業化から完成までを経験することが少ない中、どちらの取組においても企画から実現までを経験することができました。この経験は、今後の職員生活においても自信となり、チャレンジ精神を引き出すことができたと感じています。

これまでの職員生活においては、河川改修、災害復旧、道路

改良など様々な分野を経験してきましたが、建設コンサルタントの皆さんからたくさんのことを学び、発注者としての技術力・判断力を培うことができたと思っています。

今後は皆様から教えていただいたことや経験したことを私自身が後輩職員に伝えていかなければならないと強く感じています。

最後になりますが、今後も公共事業の推進には建設コンサルタントの皆様の力強いバックアップが不可欠となりますので引き続きよろしくお願いいたします。



木技術を持ち合わせていたと言われています。

現代では土木分野においても技術革新が著しく、日々、多種多様な知識を深め、学ばなければなりません。今回のテーマである「建設コンサルタントに求めること」としては、人々がより安全で快適に暮らすことができるよう環境を整えることだと考えます。そのためには市民の声や発注者、その他関係機関との明確なコミュニケーションを図り、業務の諸条件を考慮しながら遂行していかなければなりません。また業務を遂行していく中で予期せぬ問題が発生した場合に迅速かつ柔軟な対応が求められます。

コミュニケーション以前の問題ですが、私自身、入社当初は業務自体がどのような段取りで進んでいくのか、何を基準に決めればいいのか右も左もわからない状態からのスター

トでした。入社から4年が経ち、発注者とのコミュニケーションや業務の進め方など少しずつではありますが、理解できてきたのではないかと思います。最近では橋梁点検、交通量調査、農業土木、道路、陸上競技場、橋梁補修といった設計業務に従事させていただいております。これからも多種多様な業務に携わり、将来的に自分が一人の技術者として、どの分野を専門とするのかも視野に入れながら業務にも励んでおります。

そのためにも、まずは意識改革からはじめ、日々学び、薩摩の先人たちに少しでも近づけるよう精進したいと思います。まだまだ未熟者ではございますが、自分なりに粉骨砕身頑張っていく所存です。

入社4年目になって



株式会社 国際開発コンサルタンツ 名古屋支店 技術課
渡邊 奈穂子

この業界に入って約3年半が経ちました。大学は建築系の学科に所属し、建築、都市計画の分野について学んできました。いざ、建設コンサルタントの会社に入社してみると、土木系、環境系、地理系、経済系など文系理系問わず、様々な分野で学んできた社員がおり、“まちづくり”は、多様な視点から考えられるのだと実感しました。

さて、今回、このような機会をいただきましたので、入社してからこれまでに振り返ってみたいと思います。

私は、入社してからこれまで、計画・調査系の業務に携わってきて、技術的な支援・設計というよりは人と対話するよう

1年目を振り返って



協和設計 株式会社
佐橋 楓雅

協和設計株式会社に入社してから、今年度で2年目になりました。入社後は、道路グループに配属され、国土交通省や愛知県の業務を中心に携わりました。入社1年目に経験した業務を振り返ろうと思います。

入社1年目の前半は、図面の修正作業や数量計算書の作成を行いました。図面の修正作業では、平面図、縦断図および横断図の整合確認や旗上げの修正をしたり、体裁を整えたりしました。数量計算書の作成では、平面図の旗上げを読み取り数量調書としてまとめたり、排水構造物や付属物の構造図から単位数量を算出したりしました。また、土量算出のために横断図から土工根拠図を作成しました。図面の修正作業や土工根拠図の作成では、覚えたてのCAD操作に苦労しましたが、周りの方々にアドバイスをいただいたおかげ

建設環境分野の調査業務に携わって思うこと



株式会社 環境アセスメントセンター 静岡支社 調査計画部 総合調査課
竹本 裕太

私が建設・環境コンサルタント業界に入ってから6年が経ちました。業務を遂行していく中で、現地作業などはある程度こなせるようにはなったものの、業務全体を遂行する能力はまだまだであり、技術者として学ぶことが多いと感じています。そんな自分に、このような投稿をする機会を与えて頂き、何を書いたものかと結構考えさせられました。投稿にあたって、目を通してくれた方に自分の書いたものが何かしらのヒントになってくれればと思っており、結論として自分がこれまで現地作業を通してあったらよかったなと思ったもの、これから必要だなと感じたものを述べていこうと思います。

私が関わる業務は、騒音・振動調査や採水調査などの環境調査が主体です。現地作業では、項目ごとに様々な方法・手法があり、その手順に則って作業を行います。ですが、いざ

な仕事の方が多かったように思います。

人との対話は、自分の思うようにならないことが多く、もどかしい気持ちになることもありましたが、そんな中、ある人から「まち是人。人がいるからまちづくりをする意味がある。」といったことを聞き、深く共感しました。

地域の人が何を求めているのか、どのようなことをしたいと考えているのか、データだけでは分からない“思い”を受け、自分たち技術者が形にしていくという過程は難しいながらもとても面白いと感じるようになりました。

4年目となり、経験させていただいたことも増えていく一方で、自身の不甲斐なさも日々感じています。

多様な視点と高い技術力、さらに人との対話力を持ち合わせた技術者となれるよう、日々の業務と向き合いながら精進していきます。



で、与えられた期間内に作業を終えることができました。計算書としてまとめる作業では、事前に過年度成果や他の業務の数量計算書を見て、各工種の数量をどうやって算出しているかを確認しておいたおかげで、今回の業務で何をどの工種でどういう計算式に基づいて算出しなければならないかが分かり、作業を効率よく進めることができました。

入社1年目の後半には、橋脚施工時に床掘した箇所をどのような形状で埋戻すかの検討を行いました。まず、橋脚周辺の現況地盤高や既設構造物の位置等を把握するために、平面図上の等高線や現場写真等を確認しました。その後、上司の検討の進め方や設計に対する考え方を学びながら、橋脚の床掘箇所を盛土構造や擁壁で埋戻す形状の検討を行いました。検討にあたっては、埋戻し後の形状が用地内に収まっ

ているか、排水が流末まで流れるか等に留意しました。加えて、本検討ではコントロールポイントや設計に用いた各種構造物の寸法や規格の根拠、排水計算の方法等を図面や資料に書き残しました。これらは、本検討を進めていく上でこれまでどういう形状を検討してきたか、これまでの形状では何が問題だったのか等、検討の経緯を思い出すのに役立ちました。また、その後の業務において留意点や確認すべき書籍、検討の手順等の参考となりました。

1年目を通してCAD操作や図面・報告書の作成方法、各種構造物の規格や検討の進め方等様々なことを学びました。2年目になってもまだまだ知らないことが多いですが、常に学ぶ姿勢をもって日々の業務にあたっていきたいです。

マニュアルを読んでも、難しい理論や文字ばかりで、読み解くのが非常に難しく、時間がかかると感じています。もちろん内容を理解することは非常に大事ですが、初めて取り組むときのハードルが高いのもまた事実です。また実際の作業で気を付けることなどの知識は、作業員の経験にとどまっており、記録や資料としては残っていないイメージがあります。このような体験から、現地作業に特化したマニュアルがあったらいいな、と思いました。作業のみに特化しているので、現地での作業効率が上がることが期待でき、作業を通じて調査の理論や内容の理解が深まることにも繋がります。また業界自体で、分かりやすいマニュアル(挿絵や動画などがある等)が作られると、人材の育成などがより進みやすくなるのではないかと、とも思います。

次にこれから必要かなと思うものですが、より作業を簡略化・効率化することが求められると感じています。人手不足は全ての業界で問題となっており、人材の確保に苦労しているかと思いますが、それと同じく今ある作業をより短時間・少ない人工で行える工夫もまた必要かなと思います。AIやIoTの導入(電子野帳など)、調査方法の見直しなど、今の時代に沿った新しい技術・方法がもっと一般的になってくれば、少しは問題解決に進むのかなと思います。

ここまで大それたことを書いた気もしますが、うまく仕事を回していくためにも、自己研鑽しつつ、上記のようなことも取り組んでいきたいと考えています。

大日本ダイヤコンサルタント株式会社 中部支社

管理部管理室 齋藤 まい

1. 我が社のプロフィール

大日本ダイヤコンサルタント株式会社は、『大日本コンサルタント株式会社』と『株式会社ダイヤコンサルタント』が2023年7月に合併・始動した会社です。

大日本コンサルタントは、1963年の創業以来、一貫して橋梁など構造物の計画・設計を主力に、道路や都市、河川や港湾など、国内外の様々な社会資本整備に貢献してまいりました。一方、ダイヤコンサルタントは、1963年に資源系の地質調査会社として発足し、地質・地盤・地下水・資源等の調査・解析と、これを活かした土木設計に特色を有す建設コンサルタントとして、歩んでまいりました。

ともに創業から60年を経て、大日本は橋梁設計の、ダイヤは地質と地盤調査・解析のトップランナーとして、独自技術に磨きをかけてまいりました。今後は、両社の技術を融合することで、地質・地盤の調査から、土木構造物等の計画・設計をワンストップでこなす災害時にも強い建設コンサルタント会社になり、我が社のビジョン、「信頼のもと、社会になくてはならない企業グループ」を目指してまいります。



写真-1
↑ 中部支社社屋
(西区名駅 NPC
タワー)
← 金山南オフィ
ス(熱田区金山
駅徒歩1分)

2. 我が社のイチオシ！

我が社のイチオシは、女性が様々なライフスタイルに応じて働き続ける環境づくりを応援する『なでしこ会』の活動です。

建設コンサルタント業界は、女性社員が未だ少ない状況にあります。それを踏まえ、女性社員自らが職場環境等について考える『なでしこ会』が2013年に発足しました。

同会は各支社から選抜された女性代表者により運営され、全女性社員が会員となっています。主に、女性社員の

ネットワーク形成を主眼に、女性の視点を活かして働きやすい環境形成に向けた検討に取り組んでいます。結果、産休・育休に備えたマニュアル、名字変更手続きマニュアル、復職面談シート等を作成補助し、情報発信しています。

2023年6月には、合併後の初顔合わせを兼ねて、なでしこ会運営会と中部支社の女性社員との座談会を行いました。普段の働き方から女性特有の悩みまで、女性先輩社員と情報共有した時間は大変貴重なものとなりました。



写真-2 なでしこ会・中部支社女性社員座談会の様子

3. 最近のトピックス

2020年から流行した新型コロナウイルスの影響により支社旅行を中止していましたが、2023年、合併後に4年ぶりとなる支社旅行を開催しました。

バス内レクリエーション、BBQ、フィールドアスレチックを体験し、出身会社や所属を超えた交流を深めることで、一体感と楽しい思い出を残すことが出来ました。



写真-3 BBQの様子

4. 執筆者からひと言

会社が合併し、そのシナジー効果を実感するには時間がかかりそうです。今後は若手を中心となって、両社を尊重し高め合いながら、技術の研鑽と挑戦によって、次世代に継承すべき会社の土台作りに努めてまいります。

若鈴コンサルタンツ株式会社

業務企画部 安井 睦

1. 我が社のプロフィール

若鈴コンサルタンツ株式会社は1963年に創業し、2023年1月に60周年を迎えました。社訓である「誠実、和合、信頼」をモットーに、豊かで美しく、住みよい国土の創出のため社会資本整備における調査、測量、設計を行う総合建設コンサルタントとして、全国で事業展開しています。近年は働き方改革を取り入れ、社員の生活の安定のもと、人材育成、技術力の向上を図り、社員一丸となってさらなる発展を目指しております。また、会社スローガンの「大地の言葉に耳を傾けたい」のもと、持続可能で多様性のある社会の実現のため、社員全員でSDGsに取り組んでおります。現在、建設コンサルタント業10部門、測量業、補償コンサルタント業（土地調査部門）、地質調査業、一級建築士事務所に登録しています。

【主な拠点】本社（名古屋）、東北支店（仙台）、東京支店（池袋）、関西支店（京都）、九州支店（熊本）



写真-1 本社社屋（名古屋市区）



コーポレート・マークは、自然を象徴する大空と大地のイメージ。白い雲と道、また河川を〔W〕（Waka）〔S〕（Suzu）〔C〕（Consultants）の頭文字にアレンジしています。

2. 我が社のイチオシ！

当社では、従来のような設計図面からのみではわからない部分の「見える化」に関する様々な取り組みを進めています。2014年に空撮を目的としたUAV（小型無人航空機）の導入を始め、地上レーザースキャナや深淺測量用ラジコンボート等の測量機器の導入を進めてきました。その後、3次元点群処理ソフトウェア等を用いたUAV測量により現場調査や計画・設計等への活用に取り組んでいます。3Dモデル等を活用することで、クライアントや地元の方によりわかりやすい説明ができるようになるなど、品質の向上を目指しています。

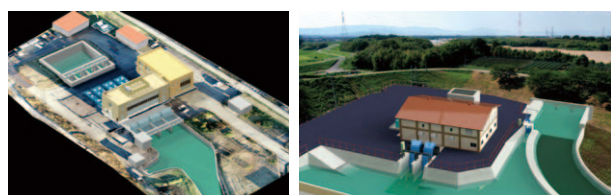


写真-2 3Dモデル



写真-3 道路走行シミュレーション

3. 最近のトピックス

本社および各支店で創立60周年記念祝賀会を開催いたしました。このように社員が一堂に会するのは、新型コロナ感染流行後初めてのため、それぞれの方が親交をより深めた楽しいひと時となりました。



写真-4 60周年記念祝賀会

若鈴釣同好会（WFC: Wakasuzu Fishing Club）を2023年に結成しました。初釣行では大漁でした。今後は様々なジャンルの釣りにチャレンジします！



写真-5 三重県鳥羽市国崎沖にて

4. 執筆者からひと言

当社は次の100周年に向け、今後もその時代の先を見据えた会社をめざし、社員全員で社会資本整備に取り組んでいきたいと思ひます。



会社HPはこちら

中部圏インフラ整備構想の進捗状況

推進委員会 会長 後藤 隆

1. はじめに

中部支部では、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県からなる中部圏の今後のインフラ整備について、協会支部としての意見を持ち、自律した建設コンサルタントの活動を展開していくために、中部圏の未来に向けたインフラ整備構想を策定することの意義は高いと考え、2022年度の支部の事業計画に構想の策定を位置づけました。

2022年12月に3つのワーキングからなる推進委員会（メンバー28名）と構想案に対して意見交換を実施する構想協議会（役員、中部支部専門委員会）を設置し、キックオフ会議を開催、2024年度の完成を目指して検討を進めています。

2. 中部圏インフラ整備構想に求められる視点

中部圏は、日本の中央部に位置するとともに東西交通の要衝にあります。温暖な気候、多様な歴史・文化、広大な森林・平野や河川など豊かな自然に恵まれた環境を背景に、地域の特色ある資源を生かした農林水産業や観光産業が発展するとともに、日本のモノづくりの中心として日本経済をけん引し続けています。

さて、わが国のインフラ整備を取り巻く情勢は、激甚化・頻発化する自然災害、人口減少と高齢化による地域社会の変化、加速するインフラの老朽化、デジタル技術の進展による社会や国民生活の変化、社会・経済のグローバル化や持続可能な社会の実現など多様な状況への対応が求められており、より一層厳しさを増しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、住まい方や働き方が大きく変化しています。これらは、中部圏においても同様です。

このような情勢の中、中部圏に求められるのは、まずは木曾三川をはじめとして大河川が多い地域であることや、南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくないことなどから、大規模自然災害への備えが急務です。次に東京一極集中から分散型の国土構造への転換並びにグローバルな経済基盤の形成において、中部圏にはスーパー・メガリージョンの中心的な役割が求められています。そして中部圏は過疎地域を含む中小都市が点在しており、地域で安心して暮らし続けることができるように、新たな人の流れや地域間交流を推進し、持続可能で多彩な地域生活圏の形成が重要となっています。

3. 中部圏インフラ整備構想の概要

これらの課題を踏まえ、「中部圏インフラ整備構想」は、国が令和3年6月に示した「国土の長期展望」最終とりまとめの、2050年を見据えた国土の目標である『真の豊かさ』

を実感できる国土」に準拠して策定するものとししました。

「国土の長期展望」では、「真の豊かさ」を追い求めるために必要となる共通の土台として、「安全・安心」「自由・多様」「快適・喜び」「対流・共生」を示しています。その上で、目標実現に向けた基本方針として、個性豊かで利便性の高い持続可能な地域を創出していく「ローカル」の視点、激化する国際競争の中で稼ぐ力を維持・向上させていく「グローバル」な視点、人・モノ・情報の交流だけでなく、土地・自然・社会とのつながりも加えた「ネットワーク」の視点の三つの視点が重要であるとしています。

中部圏インフラ整備構想は、これらを踏まえ、2050年を見据え“『真の豊かさ』を実感できる国土づくりに向けて”をテーマに掲げ、地域で暮らす人々が『真の豊かさ』を実感できる中部圏の実現に向け、「安全・安心の確保」「持続可能な経済の好循環の実現」「持続可能な地域社会の形成」の3つを基本方針として検討作業を進めています。

インフラ整備構想を作成する対象地域は、(1)中部圏全域、(2)名古屋圏、(3)過疎地域を含む中小都市連携（地域生活圏）とし、2050年を見据えた将来構想をそれぞれ立案しています。(1)はマクロ的視点で、(2)は名古屋市を核とした周辺市町村を含む圏域を対象に構想を描き、(3)は中部圏内の過疎地域を含む中小都市において参考になる構想を提案することとしています。



推進委員会の状況

4. おわりに

2023年度は、推進委員メンバーがともに議論を重ね、目次構成、並びに構想骨子を立案しました。

2024年度は、構想策定の最終年度で大変タイトなスケジュールとなりますが、本構想が、中部圏の未来に向けたインフラ整備の取り組みの参考となり、地域で暮らす人々が『真の豊かさ』を実感できる中部圏になるように、中部支部の総力を結集して「中部圏インフラ整備構想」の完成を目指してまいります。

総務部会 運営委員会

運営委員長 伴 宏之

運営委員会の活動としては、総会、協議会を始めとし各委員会の企画、立案、運営が円滑に進められるよう活動を行っています。

以下に令和5年度下半期の主な活動報告と令和6年度上半期の主な活動予定についてご報告します。

令和5年度下半期の主な活動報告

■カルチャーセミナー

- 開催日: 令和5年11月19日(日)
- 場 所: 名古屋都市センター11階まちづくり広場
- 講 師: 小和田哲男 静岡大学名誉教授
- 内 容: 「徳川家康に学ぶ土木工学」についての基調講演と意見交換を実施。



カルチャーセミナーの様子

■会員交流会

- 開催日: 令和6年1月10日(水)
- 場 所: ヒルトン名古屋
- 内 容: 中部地方整備局、学校関係等の来賓を迎え会員交流会を対面で実施。



会員交流会の様子

令和6年度上半期の主な活動予定

■定時総会受付支援

- 開催日: 令和6年4月22日(月)
- 場 所: KKRホテル名古屋
- 内 容: 支部活動内容を会員関係者に報告。

■インフラ70周年講演会支援

- 開催日: 令和6年9月26日(木)
- 場 所: 港湾会館
- 内 容: 代表的なインフラ整備に関わる講演会を予定。

総務部会 災害対策委員会

災害対策委員長 木田 末雄

災害対策委員会では、災害時対応訓練に関する事項を分掌しており、過年度に締結した2団体を含めた行政機関等10団体と締結している災害時支援協定内容の適宜見直し及び支援協定先との協議並びに災害時に備えた情報伝達訓練の企画・運営等の活動を実施しています。

以下に昨年度下半期の主な活動と今年度上半期の主な活動予定についてご報告します。

令和5年度下半期の主な活動報告

■名古屋高速道路公社との災害応急対策支援協定に関する意見交換会

- 開催日: 令和5年10月11日(水)14:00～
- 場 所: 名高速黒川ビル2階
- 参加者: 名古屋高速道路公社、建コン協中部支部、支援協力社班長
- 内 容: 災害時の名高速の役割及び対策活動等

■名古屋市災害支援協定における対応

- 開催日: 令和5年10月11日(水)15:30～
- 場 所: 名古屋市役所西庁舎7階道路建設課
- 参加者: 道路建設課担当者、災害対策委員
- 内 容: 緊急通行車両の確認申請制度について

■名古屋港BCP協議会

- 開催日: 令和6年1月31日(水)14:00～
- 場 所: 名古屋港管理組合第1会議室
- 参加者: 名古屋港BCP協議会構成員
- 内 容: 情報の共有方法のルール化について等

■能登半島地震への対応

- 内 容: テックフォース帯同の依頼・調整
建コン本部への対応

■「令和6年度災害時会員連絡名簿」作成のため支部会員へアンケート調査依頼

- 開催日: 令和6年3月21日(木)

■災害対策委員会の開催

- 開催日: 令和5年11月29日(水)、
令和6年2月28日(水)

■その他

- R6建コン白書への災害活動の記録掲載原稿作成

令和6年度上半期の主な活動予定

■中部支部災害時会員連絡名簿の作成

支部会員からのアンケート調査結果を基に支援内容の追加、修正、確認を行い、行政機関10団体の「令和6年度災害時会員連絡名簿」を作成し、協定締結先へ配付を予定。

■災害時対応演習

- 開催日：令和6年9月2日(月) 予定
- 災害対策現地本部：中部支部

■名古屋市との災害時対応訓練に係る事前説明会

- 開催日：令和6年8月下旬 予定

■名古屋市との災害時対応訓練

- 開催日：令和6年8月下旬 予定

■名古屋高速道路公社との災害応急対策支援協定に関する意見交換会

- 開催日：令和6年10月中旬 予定

■岐阜県との災害応援協定連絡会議

- 開催日：令和6年5月下旬 予定

■静岡県との出動要請・応援訓練

- 開催日：令和6年8月中旬～9月初旬

■災害対応・BCP検討WP

- 建コン協本部と支部との災害時対応演習等の協議

■名古屋港BCP協議会

- 開催日：令和6年7月上旬
(令和6年2月中旬まで4回開催)

■南海トラフ地震対策中部圏戦略会議

- 開催日：令和6年5月16日(木)

■上記に係る委員会の開催を予定

- 開催予定日：5月28日、7月4日、8月中旬、9月2日

対外活動部会 対外活動委員会

対外活動委員長 久保田 裕重

対外活動委員会では、発注者との意見交換会を中心に、関係行政機関の窓口として活動しております。昨年度は、中部地方整備局をはじめ中部4県との意見交換会の開催ができました。今年度も引き続き、意見交換会を通して、協会会員の声を発注者に伝え、課題解決に向けた取組みを進めてまいります。

令和5年度下半期の主な活動報告

■中部地方整備局との意見交換会

- 開催日：令和5年12月18日(月)
- 場 所：名古屋銀行協会会館 201会議室
- 出席者：中部地方整備局 八尾企画部長はじめ10名
中部支部 上田支部長はじめ17名
- 議 題：①履行期限(納期)の平準化と標準履行期間の確保への取組み強化
②BIM/CIM業務実施における支援要請
③災害時業務支援における環境整備
④地域コンサルタントの活用促進
⑤中部地方整備局直轄事業の安定的な事業量の確保



中部地方整備局との意見交換会

■愛知県建設局との意見交換会

- 開催日：令和5年12月21日(木)
- 場 所：名古屋銀行協会会館 201号室
- 出席者：愛知県建設局 佐藤建設企画課長はじめ21名
中部支部 上田支部長はじめ15名
- 議 題：①担い手確保・育成のための環境整備
②品質の確保・向上
③入札・契約方式等の改善

■岐阜県県土整備部との意見交換会

- 開催日：令和5年11月29日(水)
- 場 所：岐阜県議会棟第1会議室

- 出席者：岐阜県 八田技術検査課長はじめ5名
中部支部 中村副支部長はじめ10名
- 議 題：①担い手確保・育成のための環境整備
②技術力による選定
③DX推進の環境整備

■静岡県交通基盤部との意見交換会

- 開催日：令和5年12月22日(金)
- 場 所：WEB会議(静岡県庁⇄中部支部)
- 出席者：静岡県 岩崎参事はじめ7名
中部支部 中村副支部長はじめ12名
- 議 題：①担い手確保・育成のための環境整備
②品質の確保・向上
③情報共有・フリーディスカッション

■三重県県土整備部との意見交換会

- 開催日：令和5年12月21日(木)
- 場 所：三重県庁 5階ミーティングルーム
- 出席者：三重県 上村県土整備部副部長はじめ10名
中部支部 中村副支部長はじめ13名
- 議 題：①担い手確保・育成/就業環境の改善
②品質の確保・向上
③その他(入札・契約方式等の改善)

■建設技術フェア「学生交流ひろば」への出展

令和5年12月6・7日に開催された「建設技術フェア2023 in中部」の「学生交流ひろば」に建コン中部支部ブースを出展しました。対外活動委員会で準備・運営を行い、建設コンサルタントの技術者(技術部会、若手の会、女性の会：計24名)が学生の個別相談に応じ、業界の役割や目指す姿など、建設コンサルタントに関する情報を伝えました。



建コン中部支部ブースの様子

令和6年度上半期の主な活動予定

令和6年度上半期は以下の活動を予定しております。

- 令和6年度「要望と提案」中部地方意見交換会(9/9)
- 「あいち建設みらいサロン」の窓口 など

今後も発注機関との連絡・調整を中心とした活動により、協会活動が円滑に進行できるよう努力してまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

対外活動部会 編集委員会

編集委員長 伊藤 博之

編集委員会の活動は、広報誌「図夢in中部」を年2回(1月、8月)編集・刊行することにより、中部支部における諸活動の状況及び新規事業等を主に、建設コンサルタントに関する各種の情報を会員各社及び官庁、大学の方々に提供しています。

令和5年度下半期の主な活動報告

■「図夢in中部 Vol.52号」の発刊

2024年1月発刊に向けて52号の編集を行いました。
内容といたしましては、

- 業務技術発表 2023年度の第一会場および第二会場で行われました発表会で、最優秀賞及び優秀賞の計6編を掲載いたしました。
- 巻頭言は、上田支部長に執筆して頂きました。
- 投稿は、愛知県・岐阜県職員の方に執筆頂き、会員の投稿は4名頂きました。
- 協会活動紹介は、部会報告・各委員会の2023年度上半期の活動報告と2023年度下半期の活動予定を記載しております。
- 事務局だよりは、「品質セミナー『エラー防止のために』の開催」、「『契約のあり方』講習会の開催」、「令和5年度における中部支部の活動について」を記載しております。



図夢 in 中部 Vol.52 号

令和6年度上半期の主な活動予定

■「図夢in中部 Vol.53号」の発刊

2024年8月発刊に向けて53号の編集を行っております。

- 6月21日に編集委員会を行い、各項目につきまして確認を行っております。

編集委員会では、中部支部の活動状況や情報を「図夢in中部」とHPを通じて紹介しています。
(<https://www.ccainet.org>)

今後も会員皆様からのご支援を頂き、活動状況をわかりやすく、親しみやすい内容で提供していきたいと考えています。

対外活動部 事業広報委員会

事業広報委員長 木村 孝延

事業広報委員会では、建設コンサルタントが「安心・安全・快適な暮らし」を実現するためにどのような役割を担い、どのように貢献しているかを広く一般の方々にご理解いただけるように、また学生の方々に対して業界の知名度を上げ、次代を担う技術者を確保するために、社会貢献活動を通じて業界活動をPRしていくことを目的として、これらの活動の企画・運営を行っています。

以下に令和5年度の主な活動と令和6年度上半期の主な活動予定についてご報告します。

令和5年度下半期の主な活動報告

■建設コンサルタントフェア2023の開催

金山総合駅コンコースにて今年度も建設コンサルタントフェアを開催しました。

- 開催日：令和5年11月11日(土)
- 場 所：金山総合駅コンコース
- 展示内容：建設コンサルタントの役割パネル展示
フォトコンテストの開催
模型実演によるインフラの重要性説明

令和4年度は展示のみの受身の開催となりましたが、令和5年度はティッシュの配布等で展示スペースへの導入を再開しました。

- アンケート回収：321枚
 - フォトコンテスト投票数：377票
- ご家族での来場が多くみられました。

フォトコンテストの投票数が多いのもご家族で投票いただいた結果です。

■広小路夏祭り「打ち水大作戦」への参加

8月19日(土)に開催された名古屋広小路夏まつりの催しの一つである打ち水大作戦に参加しました。前年度は夏祭り自体が中止となり開催されませんでした。令和5年度から事務局を変更して復活し、打ち水により35.3℃→34.8℃(-0.5℃)の効果がありました。

■産官三機関合同インターンシップへの参加

令和5年9月4日～8日の5日間、国交省が主体となり、国・ゼネコン・コンサルの三機関による合同インターンシップが開催され、事業広報委員会でも運営のサポートとして参加しました。

■業界説明会の実施

土木系の学部を展開している中部の大学・高専に対し、就職先の選択肢として建設コンサルタント業界を紹介するため、各校に出向き業界の役割について説明会を実施しています。

対面での開催が年々難しくなっていますが、HPや動画を活用した新しい開催方法についても検討してきます。

■業界広報誌の配布

会員名簿や図夢in中部など協会会報誌の配布を行っています。

令和6年度上半期の主な活動予定

■建設コンサルタントフェア2024の開催

今年度も建設コンサルタントフェアを開催いたします。

- 開催日：令和6年10月26日(土)
- 場 所：金山総合駅コンコース

新たな取り組みとして、「若手の会」「女性の会」にも企画段階からご協力いただけることになり、例年とは少し違う催しになればと期待しています。

■打ち水大作戦への参加

今年度も参加に向け、新しい事務局と連絡を取り、調整していきます。

- 開催予定日：8/17(土)

■産官三機関合同インターンシップへの参加

今年度も開催が決まりました。

業界説明会の開催について大学・高専に問い合わせを行っていく中で、合同ISの紹介や情報提供を行っていきます。

- 開催期間：9/2～9/6

■業界説明会の実施

引き続き各校に対し説明会の開催可否について問い合わせを行います。

次代の担い手を確保するための重要な機会だと認識し、継続的な活動を続けます。

本部広報専門委員会でPR動画の作成を行っており、近々利用できることと思います。

■業界広報誌の配布

会員名簿や図夢in中部など協会会報誌の配布のお手伝いを行います。

情報部会 情報委員会

情報委員長 鹿田 竜一

情報委員会は、支部会員企業及び広く一般向けに、支部活動状況の発信や支部で運用する情報インフラの整備など、情報通信分野に関して活動しています。

令和5年度下半期の主な活動報告

■ホームページ運用管理

定期的な情報発信に加え、図夢in中部の掲載及び講習会などの資料を掲載しました。

■フォトコンテストの実施

『私のお気に入りの風景(土木施設)』をテーマとしたフォトコンテストを開催しました。一次選考にて8作品を選出し、建設コンサルタントフェア(11/11開催)でパネル展示するとともに、来場者の審査により最優秀作1点、優秀作3点を選定しました。受賞作品は支部ホームページに掲載しています。



建設コンサルタントフェアでの一般審査の様子

■ICTアンケートの実施

支部会員企業を対象に「ストレージの取り扱い」に関するアンケートを実施し、分析した結果を支部会員企業に公開しました。

令和6年度上半期の主な活動予定

■ホームページの運用管理

定期的な情報発信に加え、図夢in中部の掲載及び講習会などの資料を掲載します。

■フォトコンテストの実施

『私のお気に入りの風景(土木施設)』をテーマとして会員企業を対象にフォトコンテストを実施します。

■ICTアンケートの実施

会員各社に参考となる情報を提供することを目的とした、ICTに関するアンケートを実施します。

■その他

当委員会への要望などございましたら、メールでお気軽にご相談ください。

(情報委員会メールアドレス:johou@ccainet.org)

情報部会 ICT委員会

ICT委員長 佐藤 貴章

ICT委員会は、ICTに関する情報収集と共有、講習会の開催、関係機関との連絡調整等を通じ、支部会員へのICT普及支援を目的とした活動を行なっています。

令和5年度下半期の主な活動報告

■愛知県i-Construction推進協議会への参加

愛知県からのご依頼により、11/29(水)に開催された協議会に参加しました。ICT活用工事の実施状況やBIM/CIMを含めた普及・促進に関する意見交換等を行いました。

■発注者との意見交換会への参加

BIM/CIMの普及に関する発注者との意見交換会に参加し、国土交通省中部地方整備局や各県の担当者とBIM/CIM導入状況などについて意見を交わしました。また、意見交換会資料として、BIM/CIMに関する会員アンケートを実施し、とりまとめを行いました。

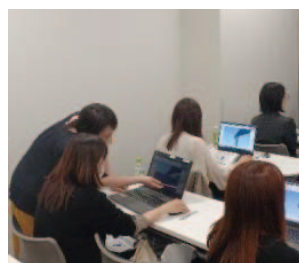
令和6年度上半期の主な活動予定

■BIM/CIM・DXに関する講習会の開催

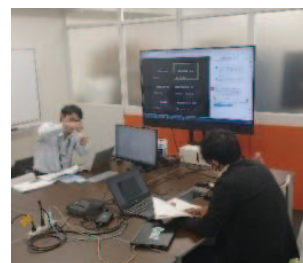
支部会員へのBIM/CIMやDX関連情報の提供、及び技術力の向上を目的とした講習会を開催いたします。

今年度も3D-CADなどBIM/CIM関連ソフトのハンズオンセミナーや、DX関連技術の体験型講習会など、以下の内容を予定しています。

- BIM/CIMハンズオンセミナー(参集形式)
- DX講習会(参集形式、体験型)
- GIS講習会(本部共催)
- CIM講習会(本部共催)



昨年度状況(CIM講習会)



昨年度状況(GIS講習会)

■発注者との意見交換会等

昨年度に引き続き、協議会や意見交換会に積極参加して、発注者との交流を継続します。

■その他

当委員会への要望などございましたら、メールでお気軽にご相談ください。

(ICT委員会メールアドレス:ictc@ccainet.org)

技術部会 道路委員会

道路委員長 水野 耕治

道路委員会では、講習会・見学会・講師派遣等の技術交流を通じて、道路関連事業に従事する技術者の技術力の向上を図るとともに、建設コンサルタントフェア等を通じて建設コンサルタントの役割が広く理解されていくことを目的として活動しています。

なお、令和6年度の道路検討グループへは、33社230名（昨年度37社223名）のご登録をいただきました。

以下に令和5年度下半期の主な活動と令和6年度上半期の主な活動予定についてご報告します。

令和5年度下半期の主な活動報告

■定例委員会の開催

下半期は9月～12月に対面+Web併用で4回開催し、役員会報告、業務技術発表会報告、対外活動報告、講習会準備、次年度道路検討グループ総会準備について議論を行った。

■現場見学会

- 開催日：令和5年9月27日（水）13:00～17:00
- 場 所：国道153号豊田南バイパス（掘割区間）
- 参加者：10社22名
- 説明者：中部地方整備局名四国道事務所、勝又豊田出張所長、吉川建設（株）



集合写真

■第2回技術講習会

- 開催日：令和5年12月1日（金）14:00～16:30
- 場 所：TeamsによるWeb配信
- 参加者：30社95名
- 内 容：「自動運転の実現に向けて」
- 講 師：国土技術政策総合研究所道路交通研究部 高速道路交通システム研究室 中川 氏



講師による講演の様子

■講師派遣

1) 愛知県建設技術研修

- 開催日：令和5年9月13日（水）
- 内 容：盛土、切土の設計と法面安定

2) 三重県建設技術研修

- 開催日：令和5年9月20日（水）
- 内 容：道路構造令の解説と演習

令和6年度上半期の主な活動予定

■委員会活動

委員会活動は、4月～12月に毎月1回の活動で計9回を予定しております。なお、これまで2年実施してきたハイブリット方式にて、Web会議、対面での会議で開催します（4月、5月は対面及びWeb会議形式で実施）。

■技術講習会

開催は、8月頃と11月頃の2回を予定しています。講習内容は、維持管理、防災、交通、CIM、i-Constructionなどをキーワードに総会参加者アンケート結果を参考に決定します。開催方法は、Webによるライブ配信を基本とし、対面方式も検討します。

■現場見学会

開催は、9月頃を予定しております。中部地整の現場見学会メニューや機械化施工の現場など、中部地方で行われている土工事・構造物工事現場を訪問予定です。

■広報

広報活動は、委員会・ワーキング活動を会員全員に伝達する事業として、「道路委員会だより」を1回発行する予定です。

■講師派遣

1) 中部地整エキスパート研修

- トンネル点検（1講座、1名）
- のり面・土構造物点検（1講座、1名）

2) 愛知県建設技術研修・道路計画実務講座

- 道路計画・設計実務講座（5講座、5名）

3) 愛知県建設技術研修・設計エラー防止講座

- 道路/トンネル（1講座、1名）

4) 愛知県建設技術研修・土木施工技術講座

- 盛土、切土の設計と法面の安定（1講座、1名）

5) 三重県建設技術研修

- 道路構造令の解説と演習（1講座、1名）
- 道路排水計画と演算（1講座、1名）

6) 無電柱化ワンストップ窓口

技術部会 河川委員会

河川委員長 石崎 伸明

河川委員会では、河川の専門技術に関する交流活動、現地見学会、技術セミナーの開催、業務技術発表会への参加等を通じて、会員の皆さんの技術交流と情報交換を図るとともに、協会活動の推進、中部地整との意見交換会等によって、建設コンサルタントの地位向上ならびに河川業務の円滑な実施のための環境づくりを目指し、活動しております。令和5年度は河川検討グループへ32社260名のご登録をいただきました。

以下に、令和5年度下半期の主な活動と令和6年度上半期の主な活動予定についてご報告します。

令和5年度下半期の主な活動報告

■河川委員会

委員会は10月から12月までに計3回開催し、活動計画の策定と報告等を行いました。

■河川技術セミナー

「令和5年度 河川技術セミナー」は、下記の2名を講師にお招きし、集合とオンラインを併用したハイブリッド形式で実施しました。

- 開催日：令和5年11月29日(水) 13:00～
- 場 所：ウインクあいち 901会議室
- 講師/演題：①国土交通省中部地方整備局 河川部
河川調査官 川上 哲広 氏
「河川行政を巡る最近の話題」
②滋賀県立大学 環境学部 環境政策・計画学科 教授
湖沼流域管理研究センター長
瀧 健太郎 氏
「流域治水の社会実装に向けた展望と課題」
- 参加者：会場 70名(会員、官公庁、非会員)
Web申込者 226名(会員、官公庁、大学、非会員)



川上河川調査官の講演



瀧教授の講演

■分科会活動

[第1分科会(治水・利水・環境等の調査・計画)]

第1分科会は、岐阜大学から吉野教授をお招きして実施しました。

- 開催日：令和5年10月13日(金) 15:00～
- 場 所：アレックスビル 1階会議室
- 開催方法：集合+オンライン(ハイブリッド形式)
- 講師/演題：岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授
工学部 附属応用気象研究センター長
吉野 純 氏

「地球温暖化による気象災害の激化
～緩和と適応に向けて～」

[第2分科会(河川、砂防施設の構造計画・設計)]

第2分科会は、下記の2社を講師にお招きして実施しました。

- 開催日：令和5年10月20日(金) 14:00～
- 場 所：アレックスビル 1階会議室
- 開催方法：集合+オンライン(ハイブリッド形式)
- 講師/演題：①株式会社スカイマティクス
「インフラDXとリモートセンシングの現在地」
② 株式会社 EARTHBRAIN
「安全で生産性の高いスマートでクリーンな
未来の現場 スマートコンストラクション」

■河川見学会

令和5年度の河川見学会は、以下のとおり開催しました。

- 開催日：令和5年11月8日(水) 12:30～
- 場 所：神戸川水門本体工事(愛知県)
日光川排水機場・水閘門施設見学(愛知県)

■講師派遣

愛知県と三重県が開催する技術研修に講師を派遣しました。

	建設技術研修		開催日
愛知県 (Web)	環境管理講座	公共事業と環境	R5.10.26
		自然環境再生工法	

	河川計画・設計演習	開催日
三重県	河川に関する法令・基準類の概説	R5.10.6
	河川管理施設等構造令の概説	
	河川計画の基礎・演習	
	河川施設設計の基礎・演習	

■広報活動(研究会だより)

河川委員会と会員の方々の連絡役として、行事予定と活動報告等の情報がまとまった段階で、1月に「研究会だより」を発刊しました。

■第32回 建設コンサルタント業務技術発表会

令和5年10月31日に開催された業務技術発表会の業務技術部門で、最優秀賞と優秀賞をいただきました。

【最優秀賞】

「木曽川における中長期的な土砂動態の実態把握と
置き土による土砂還元方策の検討」
株式会社 建設技術研究所 佐々 直彦 氏

【優秀賞】

「溪流の合流点における堰堤形式の考察」
中央コンサルタンツ 株式会社 岩田 啓夢 氏

■対外活動

【建設技術フェア 2023in中部】

12/6、7に開催された建設技術フェアの学生交流ひろばで、建設コンサルタントの立場や役割等の説明を行いました。

【建設コンサルタントフェア 2023in中部】

11/11に開催された建設コンサルタントフェアで、展示パネルの説明を行いました。

令和6年度上半期の主な活動予定

令和6年度は、当検討グループへ30社244名(5月29日時点)のご登録をいただいております。

今年度の委員会活動は、令和5年度と同様、会議とWebのハイブリッド形式を基本に行う予定です。

■委員会活動:4～8月の間で5回開催予定

■令和6年度 河川検討グループ総会

7月3日(水)に開催予定

■講師派遣:中部地整・愛知県の技術研修への講師派遣

技術部会 構造土質委員会

構造土質委員長 北堀 裕隆

構造土質委員会は、「橋梁をはじめとする構造物関係技術者の技術の研鑽・向上、並びに会員相互の交流」を活動方針として、構造土質検討グループ会員に向けた橋梁・構造物設計に関する講習会や現場見学会などの行事の企画・運営、および中部地方整備局等との業務改善に関する意見交換などの対外活動を通して、会員の皆様の資質向上、並びに建設コンサルタントの地位向上を目指して、委員長以下20名にて活動しています。

令和6年度は、構造土質検討グループへ37社334名と多くの方々にご登録いただいております。

以下に昨年度下半期の主な活動と、今年度の活動予定についてご報告します。

令和5年度下半期の主な活動報告

■委員会活動

4月～12月までの毎月1回、役員会・技術部会報告、対外活動などの報告、技術講習会の立案検討などについて討議しました。

■技術講習会(Web開催)

令和5年度 構造土質検討グループ第2回技術講習会を下記のとおり開催致しました。前年度同様にWeb配信にて講習会を実施しました。

●開催日:令和5年12月5日(火)13:00～16:20

●開催方法:Microsoft TeamsによるWeb配信

●参加者:31社・201名(内、委員17名)

●内容:講習①:「橋を守る(道路橋の維持管理)」

講師:国土技術政策総合研究所

岡田 氏

講習②:「橋をつくる(道路橋の設計と施工)」

講師:国土技術政策総合研究所

岡田 氏

講習①では、国土技術政策総合研究所の岡田様より、橋を守る(道路橋の維持管理)と題してご講演いただきました。

1. 橋の損傷事例
2. 維持管理の法体系と点検の基準
3. 措置のための調査検討

講習②では、橋をつくる(道路橋の設計と施工)と題して、ご講演いただきました。

1. 道路の性能とその信頼性の評価方法の基本原理
2. 道路橋の法令と技術基準
3. 道路橋示方書の構成
4. 設計と形式選定
5. 具体の照査法がないときの扱い



国土技術政策総合研究所
岡田氏による講演

■現場見学会

令和5年度 構造土質検討グループ見学会を下記のとお
り開催致しました。

- 開催日: 令和5年11月29日(水) 9:30~17:30
- 場 所: 国道257号4号橋(PC上部工架設工事)
愛知県北設楽郡設楽町地内
- 参加者: 14社・29名(内、委員7名)

1. 設楽ダムの説明(説明者: 設楽ダム工事事務所)

広報展示室にて、設楽ダムの役割や事業概要に関し
て、プロジェクションマッピングを活用した模型を使用し
て、現況から施工完了後の状態をイメージして説明をし
て頂きました。

2. 座学(現場事務所)(説明者: 株安部日鋼工業)

現場事務所にて、対象橋梁の説明や模型を使用した
張出架設工法の説明、設計の不具合事例や配慮要望な
どについて説明いただきました。

3. 現場見学(橋脚上)(説明者: 株安部日鋼工業)

現場では2班に分かれて以下の見学をさせていただき
ました。脚上部へはエレベーターにて昇り、移動作業車の
組立状況や柱頭部の非常に密となる配筋状況や各種重
機・仮設備の設置状況の状況を間近で見学できました。

- ・P1橋脚: 移動作業車組立
- ・P2橋脚: 柱頭部施工



集合写真

令和6年度上半期の主な活動予定

■委員会活動

4月~12月の間で9回開催予定です。なお、第1回から第
2回は実施済みです。

■令和6年度 構造土質検討グループ総会

- 開催日: 令和6年7月3日(水) 14:00~16:40
- 場 所: 今池ガスビル プラチナルーム
- 内 容: 1. 令和5年度活動報告
2. 令和6年度活動計画
3. 講演「温故知新: 鋼橋の耐震設計基準の
変遷と耐震設計技術の現状」
名城大学 理工学部社会基盤デザイン
工学科 葛 漢彬 教授

■技術講習会

技術講習会は、以下の2回開催予定です。

- 第1回: 令和6年9月下旬予定(Web形式)
 - 第2回: 令和6年11月下旬予定(Web形式)
- 技術講習会テーマは、今後検討していきます。

■現場見学会

見学会は、7月下旬~9月上旬に開催を予定しています。
場所は、構造土質委員会にて検討していきます。

■コンサルタント業務技術発表会

技術部会主催の4委員会合同行事として開催します。

- 開催日: 令和6年10月22日(火) 13:30~17:30
- 場 所: ウィンクあいち(名古屋市中村区)

■講師派遣

1. 愛知県技術研修

愛知県建設技術研修に、10講座延べ8名の講師を派遣
予定です。

<事例でわかる土木設計実務講座>(7月9日)

設計事例演習・解説 / 株東京建設コンサルタント

<設計エラー防止実務講座>(7月11日)

エラー防止への対応について

/ 株ニュージェック

土質・地質調査の計画、実施及び結果の評価

/ 株ニュージェック

橋梁 / 中日本建設コンサルタント(株)

<橋梁維持補修(橋梁点検)講座>(10月17日)

橋梁定期点検について、点検調書作成説明

/ 日本工営都市空間(株)

<橋梁設計実務講座>(10月18日)

橋梁計画概論 / 大日本ダイヤコンサルタント(株)

仮設構造物の計画設計 / 株ニュージェック

橋梁上部工の設計 / 中央コンサルタンツ(株)

橋梁下部工の設計 / 株長大

耐震設計と補強工法 / 株建設技術研究所

2. ニューブリッジ研修

ニューブリッジ研修に年5回講師を派遣予定です。

「橋梁保全技術研修(検査点検コース) 基準の変遷」

■各種発注機関との意見交換会

中部地方整備局、各地方自治体(愛知県、三重県、静岡
県)、NEXCO中日本名古屋支社との意見交換会等を随時
開催していきます。

■構造土質委員会だよりの発行

委員会活動、各WG開催行事の報告等について、「構造
土質委員会だよ」として発行します。

また、図夢in中部(53号・54号)を執筆予定です。

■業界説明会

大学への業界説明会に参加予定です。

■技術部会

部会運営担当(部会開催及び資料まとめ、役員会資料まとめ)

■対外活動(建設技術フェア、建コンフェア等)

技術部会 都市計画委員会

都市計画委員長 河村 和紀

都市計画委員会では、都市整備WG、交通WG、ランドスケープWGの3つのワーキングで実施する専門技術に関する交流活動、見学会や講習会の開催等を通じて、会員の皆さんの技術交流と情報交換を図るとともに、(一社)建設コンサルタント協会中部支部の活動を推進することによって、建設コンサルタントの地位向上ならびに都市計画業務の円滑な実施のための環境づくりを行っています。

都市計画検討グループは、令和5年度237名・27社(令和4年度218名・30社)のご登録をいただきました。

令和5年度下半期の主な活動報告

■都市計画委員会

下半期(10月～3月)の委員会は2回開催し、各WG活動結果の報告、課題、今後の対応や都市計画委員会だよりの発行などについて協議をしました。

■第33回建設コンサルタント業務技術発表会

第33回建設コンサルタント業務技術発表会において、都市計画分野からは、優秀賞 栗山麻衣さん(日本工営株式会社)が受賞されました。

- 開催日: 令和5年10月31日(火) 13:30～19:00
- 場 所: 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

都市計画分野は、発表・掲載論文5編と、掲載論文5編があり、建コン中部支部HPにて公開しておりますので、是非ご確認下さい。

■ワーキング活動

1) 都市整備WG

本活動は、「大きな投資(再開発)」と「小さな投資(商店街でのリノベーション)」が連携して人の流れに変化を起こしている事例として、豊橋駅前に立地する再開発事業による「emCAMPUS」と商店街が形成されている「水上ビル(大豊ビル)」の講習会・見学会を開催しました。

- 開催日: 令和5年11月30日(木) 13:45～17:30
- 場 所: 豊橋市 水上ビル、emCAMPUS
- テーマ: 「再開発」と「商店街でのリノベーション」

の連携による魅力的な都市空間の創出

- 講 師: 大豊商店街理事長

一級建築士事務所建築クロノ代表

黒野 有一郎 氏

株式会社アール・アイ・エー 名古屋支社

山田 知樹 氏

中部ガス不動産株式会社

まちづくり事業本部 emCAMPUSチーム

江間 啓司 氏

- 講演形式: 対面形式

- 参 加 者: 27名、12社



見学会の様子



講習会の様子

2) 交通WG

本活動は、全国で初めて中心市街地での自動運転バスの運行を開始した岐阜市において、自動運転技術の最新動向を学ぶ講習会及び、その技術を体験する試乗会を開催しました。



GIFU HEART BUS



講習会の様子

- 開催日: 令和5年12月11日(月) 13:45～17:00
- 場 所: 見学: GIFU HEART BUS 遠隔監視室
講習: ハートフルスクエアG 大研修室
- テーマ: 最新の自動運転技術や都市交通への導入方法を学ぶ
- 講 師: 岐阜市役所 都市建設部 交通政策課
交通施策推進係 岩田 大乗 氏
BOLDLY株式会社 市場創生部 社会実装課
丹野 敬大 氏

- 講演形式: 対面形式

- 参 加 者: 22名、14社

3)ランドスケープWG

本活動は、新たなまちの価値や魅力を創造し、地域の活性化を目的とする事例として、また、自然と美しいデザインを融合したアウトドア施設の事例を学ぶ講習会・見学会を開催しました。



講習会の様子



見学会の様子

- 開催日：令和5年11月13日(月)9:00～17:00
- 場 所：見学：にぎわいの森/UGAKEI三重県いなべ市
講習：いなべ市役所行政棟 2階 庁議室
- テーマ：いなべ市のまちづくりの拠点とヒュッゲ
- 講 師：いなべ市役所
 商工観光課 佐藤 祐孝 氏
 都市整備課 太田 正則 氏、中世古 眞央 氏
 管財課 桑嶋 幹人 氏
 (一社)グリーンクリエイティブいなべ 一橋 俊介 氏
- 講演形式：対面形式
- 参加者：31名(12社)

■都市計画委員会だよりの発行

委員会活動や各WG開催行事報告等について、令和6年2月に「都市計画委員会だより」を発行しました。

令和6年度上半期の主な活動予定

■都市計画委員会

4月から9月までに6回の開催を予定し、令和5年度の振り返り、今年度の活動内容等について検討します。

■総会

令和6年度都市計画検討グループ総会は、会議形式により下記のとおりを実施する予定です。

- 開催日：令和6年6月24日(月)16:00～19:30
- 内 容：①令和5年度の活動報告と令和6年度の活動方針
 ②令和5年度決算報告と令和6年度予算
 ③合同WG_技術者交流(案)
 ④懇親会

若手の会WG

委員 田中 良樹
(技術部会所管)

「中部若手の会WG」は、令和6年度になり平成29年の発足から8年目に突入しました。

令和5年度は、コロナ禍が落ち着いたこともあり、対面を主としたワーキング活動を行いました。令和5年度下半期の活動内容と令和6年度上半期の予定を報告させていただきます。

令和5年度下半期の主な活動報告

■建設コンサルタント業界の意識調査アンケート

1.1 概要

建コン業界で働く方々が抱えている不満、不安、要望や期待を把握すべく意識調査アンケートを実施しました。(期間：令和5年11月6日(月)～11月17日(金))

1.2 調査結果

仕事に対する満足度が低い若手の一番の事象は、業務量の多さであることが分かりました。その他、モチベーションやコミュニケーション、技術力の伝承といった課題があることもわかりました。上記の事象への課題や解決方法について、若手の会としてできることを考えます。

■JOB Café

2.1 概要(開催日、場所)

- 令和5年11月11日(土)14:30～17:30
- オフィスパーク 名駅花車デザイン会議室

2.2 内容

「気軽に建コンを知ってもらう」ことをコンセプトに、就職活動を控えた学生が気兼ねなく若手技術者と自由に話せるイベントを昨年と同様に開催しました。

2.3 感想

全体の話から分野による仕事内容等の違いや各社の特色などより深い話をすることができました。参加した学生の満足度も高いことから、今後も継続して開催することで、より建コン業界を知ってもらえるような情報発信の形を検討していきたいと思っています。



JOB Caféの様子

■あいち建設未来サロン

3.1 概要

- 開催日：令和5年11月24日(金)
- 場 所：名古屋工業高等学校
- 開催日：令和5年12月4日(月)
- 場 所：名古屋工業大学

3.2 内容

愛知県が主催する学生への業界PRの場で、就職活動を行う学生の方に「建設分野の魅力」の発信をした。

3.3 感想

「馴染みがないが、建コンの仕事がよく分かった」との報告を頂いたことから、建コンの認知度向上の効果があったと感じています。これからも同様の活動については継続していきたいと思います。



あいち建設未来サロン

■建設技術フェア2023in 中部

4.1 概要

- 開催日：令和5年12月6日(水)、12月7日(木)
- 場 所：ポートメッセなごや第3展示館

4.2 概要

建設技術フェアにて、建設コンサルタンツ協会が出展しているブースに参加し、学生へ「建設コンサルタント」の発信を行いました。

令和6年度上半期の主な活動予定

昨年度下半期の状況等を踏まえて、以下の活動を予定しています。

■Assemble the WAKATE

意識調査アンケート結果から将来の建コンへ向けてのアプローチ方法等について、本部若手の会とディスカッションを行います。(6/21(金))

■役員との意見交換会

女性の会とともに、中部支部役員への活動報告を実施し、活動内容に関する意見交換を行う予定です。(7/25(木))

■JOB Café

昨年度に引き続き、今年度も実施いたします。ただし、昨年度の参加者数が9名と少なかったことから、学生が参加しやすい夏休みの時期に開催いたします。(8/24(土))

女性の会WG

リーダー 齋藤 まい
(総務部会所管)

女性の会WGより令和5年度下半期の活動内容、令和6年度の活動予定についてご報告いたします。

令和5年度下半期の主な活動報告

■若手の会との合同WG意見交換会の実施

令和4年度に実施した建コン業界で働く女性の勉強会にて集約した課題点に対し、男性目線の意見を収集することを目的として開催しました。

(1) 勉強会の概要

- 開催日：令和5年10月17日(火)
- 場 所：丸の内アレックスビル 1階貸会議室
- プログラム：以下のとおり
- 14:00～14:30 概要説明、各会社の制度状況の共有
- 14:30～16:00 意見交換
- 16:00～16:30 意見取り纏め、発表資料作成
- 16:30～17:00 グループ発表



合同WGの様子

(2) 各グループのトークテーマ

女性の会WGで予め9つのトークテーマを設定し、各班自由にテーマを選択・意見交換を行いました。

以下、各班発表時に取り上げたテーマです。

	トークテーマ
A班	育児休暇取得 —パートナーが妊娠した場合—
B班	職場環境 (働きやすい職場ってどんな職場なのか)
C班	パートナーの妊娠・育休
D班	①上司の姿を見てどのように感じるか (業務遂行の体制) ②育休・産休・時短勤務者への対応
E班	①上司の姿を見てどのように感じるか ②福利厚生・勤務体系について ③技術士資格支援

■リーフレットの作成

女性の会WGは2017年6月の発足以来、女性技術者の働き方や業界全体の活性化等を目的として活動を続け、令和5年度で7年が経過し4期目(1期2年)を迎えました。

活動年数が長くなり、活動当初よりも委員は増えましたが、活動目的を説明する資料が少なく引継資料が不足していたことから認識のズレが生じる課題点がありました。

そこで女性の会WGのリーフレットを作成するため、今期は目的や構成案について協議しました。

【策定の目的】

- ①委員交代時の引継の円滑化及び年度を跨いでも活発な議論を継続できるようにする。
- ②対外活動時にWGの活動内容を紹介できるようにする。
- ③WGの活動を業界内へ発信するとともに、業界外(学生や他業界)の方にも知ってもらうきっかけとし、業界の魅力向上に寄与するものとする。

■「あいち建設みらいサロン」への参加

あいち建設みらいサロンは、行政やゼネコン、建設コンサルタントなど、既に建設分野に携わっている社会人(技術者)が建設分野に対する魅力を発信することにより、建設分野に関わる若手人材の育成を行うことを目的とした活動です。

女性の会WGメンバーも参加し、仕事内容や働き方の説明、学生たちの疑問などに答えました。

【参加校、日程】

- ・愛知総合工科高等学校(令和5年8月28日開催)
- ・椋山女学園大学 (令和5年10月13日開催)
- ・名古屋工業高校 (令和5年11月24日開催)
- ・名古屋工業大学 (令和5年12月4日開催)
- ・豊田工業高等専門学校(令和5年12月13日開催)

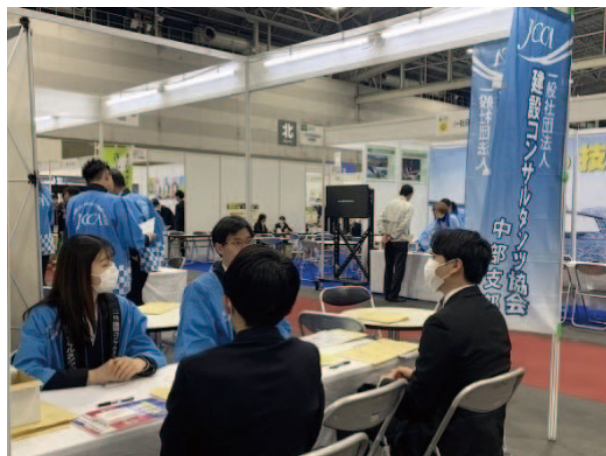


あいち建設みらいサロンの様子

■「建設技術フェア2023 in中部」への参加

今年度も建設分野の様々な会社が集まる建設技術フェア2023in中部に参加しました。

建設コンサルタンツ協会のブースへ足を運んで下さった学生の皆さんに、建設コンサルタントの仕事や女性技術者の働き方等のPRを行うことができた良い機会となりました。多くの優秀な学生が建設業界やコンサルタントを志望し、将来一緒に社会貢献できると嬉しく思います。



建設技術フェアの様子

令和6年度上半期の主な活動予定

今年度は以下のようなことに取り組んでいきたいと考えております。

■リーフレットの作成

今年度完成に向け、引き続き構成案を協議していきます。

■「建コン中部支部役員との意見交換会」への参加

建コン中部支部の役員との意見交換会に若手の会WGと参加予定です。

各WGの活動報告及び調査結果について意見をいただく場とし、有意義な時間にできるよう開催形式から検討中です。

■支部間交流

建設コンサルタンツ協会4支部(関東支部・中部支部・近畿支部・九州支部)間で意見交換会を開催予定です。

各支部の活動報告に限らず、毎年意見交換のテーマを変えて情報共有の場としています。

	会 社 名	所 在 地	電 話 番 号	U R L
あ	(株)アイエスシー	名古屋市昭和区福江2-9-33(nabi/白金2F)	052-882-1201	https://www.isc-ngo.co.jp/
	(株)愛河調査設計	名古屋市南区本地通6-8-1	052-819-6508	https://www.aiga-cc.co.jp/
	(株)葵エンジニアリング	名古屋市中村区佐古前町22-6	052-486-2200	https://www.aoi-eng.co.jp/
	朝日航洋(株)	名古屋市東区東大曽根町12-19(OZヒメノビル2F)	052-930-3431	https://www.aeroasahi.co.jp/
	(株)朝日土質設計コンサルタント	岐阜県岐阜市須賀4-8-12	058-275-1061	https://www.asahidoshitsu.co.jp/
	アジア航測(株)	名古屋市北区大曽根3-15-58(大曽根フロントビル)	052-919-0155	https://www.ajiko.co.jp/
	アローコンサルタント(株)	名古屋市熱田区新尾頭2-2-32(勢州館金山ビル内)	052-684-5684	https://www.arrow-c.co.jp/
	(株)石田技術コンサルタンツ	愛知県小牧市東新町50	0568-73-1085	https://www.itcnet.co.jp/
	いであ(株)	名古屋市港区入船1-7-15	052-654-2551	https://ideacon.jp/
	(株)イビソク	岐阜県大垣市築捨町3-102	0584-89-5507	https://www.ibisoku.co.jp/
	(株)ウエスコ	名古屋市中区錦1-7-34(HF名古屋錦ビルディング)	052-221-7420	https://www.wesco.co.jp/
	(株)エイト日本技術開発	名古屋市中区錦1-11-20(平和不動産名古屋伏見ビル3F)	052-855-2261	https://www.ejec.ej-hds.co.jp/
	(株)NJS	名古屋市中区金山1-14-18(A-PLACE金山8F)	052-217-8610	https://www.njs.co.jp/
	NTCコンサルタンツ(株)	名古屋市中区錦2-4-15(ORE錦二丁目ビル4F)	052-229-1701	http://www.ntc-c.co.jp/
	応用地質(株)	名古屋市守山区瀬古東2-907	052-793-8321	https://www.oyo.co.jp/
	(株)オオバ	名古屋市中区錦1-19-24(名古屋第一ビル7F)	052-219-0083	http://www.k-ohba.co.jp/
	(株)大增コンサルタンツ	名古屋市中川区小本2-14-5	052-363-1131	https://www.ohmasu.co.jp/
	(株)オリエンタルコンサルタンツ	名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル)	052-564-7711	https://www.oriconsul.com/
か	(株)カギテック	三重県松阪市田村町341-1	0598-23-1155	https://kagitec.jp/
	(株)片平新日本技研	名古屋市東区代官町35-16(第一富士ビル)	052-930-3701	https://www.katahira.co.jp/
	(株)カナエジオマチックス	名古屋市中区千代田1-12-5	052-249-9611	https://www.kanal.co.jp/
	川崎地質(株)	名古屋市名東区上社2-184	052-775-6411	https://www.kge.co.jp/
	(株)環境アセスメントセンター	静岡市葵区清閑町13-12	054-255-3650	https://eac-net.co.jp
	(株)神田設計	名古屋市西区花の木1-3-5	052-522-3121	https://www.kanda-s.co.jp/
	(株)橋梁コンサルタント	名古屋市中村区名駅南1-16-30(東海ビル4F)	052-582-6886	https://www.kyoryo.co.jp/
	協和設計(株)	名古屋市中区丸の内1-10-29(白川第八ビル)	052-220-1021	https://www.kyowask.co.jp/
	協和調査設計(株)	名古屋市中川区篠原橋通2-44	052-365-3711	http://www.ky-cs.co.jp/
	(株)近代設計	名古屋市中区錦1-11-20(平和不動産名古屋伏見ビル)	052-232-0921	https://www.kindai.co.jp/
	(株)建設環境研究所	名古屋市中区錦3-20-27(御幸ビル5F)	052-218-0666	https://www.kensetsukankyo.co.jp/
	(株)建設技術研究所	名古屋市中区錦1-5-13(オリックス名古屋錦ビル)	052-218-3833	http://www.ctie.co.jp/
	(株)建設コンサルタントセンター	静岡市清水区長崎新田123	054-345-2155	https://kencon.jp/
	(株)興栄コンサルタント	岐阜県岐阜市中鷺4-11	058-274-2332	https://www.koei-con.co.jp/
	(株)国際開発コンサルタンツ	名古屋市中区栄2-12-12(アーク栄白川パークビル)	052-209-6393	http://www.idec-inc.co.jp/
	国際航業(株)	名古屋市中区名駅2-27-8(名古屋プライムセントラルタワー11F)	052-747-3112	https://www.kkc.co.jp/
	国土防災技術(株)	名古屋市名東区上社2-148	052-799-8101	https://www.jce.co.jp/
さ	(株)三栄コンサルタント	岐阜県岐阜市水海道4-22-12	058-246-2558	https://www.sanei-consul.co.jp/
	サンコーコンサルタント(株)	名古屋市中区栄2-11-7(伏見大島ビル)	052-228-6131	https://www.suncoh.co.jp/
	(株)三進	岐阜県大垣市二葉町7-12	0584-73-3969	https://www.sansinn.co.jp/
	(株)三祐コンサルタンツ	名古屋市東区代官町35-16(第一富士ビル4F)	052-933-7801	https://sanyu.tcp.jp/
	(株)三洋開発	三重県津市津興275	059-225-3766	https://www.sanyoh-kaihatu.com
	ジェイアール東海コンサルタンツ(株)	名古屋市中村区名駅5-33-10(アクアタウン納屋橋)	052-746-7108	https://www.jrcc.co.jp/
	静岡コンサルタント(株)	静岡県三島市多呂128	055-977-8080	http://www.shizuoka-con.co.jp/
	柴山コンサルタント(株)	名古屋市東区白壁1-69	052-961-0111	https://www.shibayama-consul.co.jp/
	(株)修成建設コンサルタント	名古屋市中区丸の内2-20-2(オアシス丸の内NORTH3F)	052-220-2351	https://www.shusei.co.jp/
	(株)新日	名古屋市中川区山王1-8-28	052-331-5356	https://shinnichi.co.jp/
	杉山コンサルタンツ(株)	三重県津市久居新町680-4	059-255-1500	https://www.sugiyamaconsultants.com/website
	(株)スリーエスコンサルタンツ	名古屋市中村区名駅4-7-1(ミッドランドスクエア15F)	052-265-5566	https://www.sss-consultants.co.jp/
	セントラルコンサルタント(株)	名古屋市中区錦1-18-22(名古屋ATビル7F)	052-223-0380	https://www.central-con.co.jp/
	全日本コンサルタント(株)	三重県四日市市柳町80	059-352-1052	https://www.zennippon-c.co.jp/

6 会員名簿一覧

	会 社 名	所 在 地	電 話 番 号	U R L
	(株)創建	名古屋市中区大須4-10-32(上前津KDビル7F)	052-253-7124	https://www.soken.co.jp/
	(株)総合技術コンサルタント	名古屋市中区錦1-10-1(MIテラス名古屋伏見3F)	052-211-7935	http://www.sogo-eng.co.jp/
	(株)創信	岐阜県本巣市石神707-2	058-320-0325	https://www.sousinn.co.jp/
た	大同コンサルタンツ(株)	岐阜県岐阜市中鷺2-11	058-273-7141	https://daidocc.com/
	大日コンサルタント(株)	岐阜県岐阜市藪田南3-1-21	058-271-2501	https://www.dainichi-consul.co.jp
	大日本ダイヤコンサルタント(株)	名古屋市中区名駅2-27-8(名古屋プライムセントラルタワー18F)	052-581-8993	https://www.dd-con.co.jp/
	(株)拓工	名古屋市中区熱田区桜田町15-22	052-883-2711	https://www.c-takko.co.jp/
	中央開発(株)	名古屋市中村区牛田通2-16	052-481-6261	https://www.ckcnet.co.jp/
	中央コンサルタンツ(株)	名古屋市中区丸の内3-22-1	052-971-2541	https://www.chuoh-c.co.jp/
	中央復建コンサルタンツ(株)	名古屋市中区錦2-3-4(名古屋錦フロントタワー4F)	052-220-2920	https://www.cfk.co.jp/
	(株)中部テック	名古屋市中東区社台3-48	052-771-1251	http://www.chubu-tech.co.jp/
	中部復建(株)	名古屋市中区昭和区福江1-1805	052-882-6611	https://www.chubu-fk.co.jp/
	(株)長大	名古屋市中村区平池町4-60-12(グローバルゲート20F)	052-586-0700	https://www.chodai.co.jp/
	(株)千代田コンサルタント	名古屋市中区丸の内3-14-32(丸の内三丁目ビル6F)	052-221-1401	https://www.chiyoda-ec.co.jp/
	(株)テイク	岐阜県岐阜市橋本町2-8(濃飛ニッセイビル内)	058-214-6667	https://www.teikoku-eng.co.jp/
	(株)東京建設コンサルタント	名古屋市中区錦2-5-5(八木兵伝馬町ビル)	052-222-2771	https://www.tokencon.co.jp/
	(株)東日	静岡県沼津市大岡2240-16	055-921-8053	http://www.tohnichi-net.co.jp/
	(株)トーニチコンサルタント	名古屋市中区栄4-6-15(フォーティンビルズセンタービル)	052-262-4535	https://www.tonichi-c.co.jp/
	東洋技研コンサルタント(株)	名古屋市中区丸の内3-23-8(MLJ丸の内ビル7F)	052-228-3660	https://www.toyogiken-ccci.co.jp/
な	中日本建設コンサルタント(株)	名古屋市中区錦1-8-6(ONEST名古屋錦スクエア)	052-232-6032	https://www.nakanihon.co.jp/
	(株)浪速技研コンサルタント	愛知県豊田市桜町2-54(松村ビル2B)	0565-41-4655	https://www.naniwa-giken.co.jp/
	南海カツマ(株)	三重県津市上浜町5-64-6	059-226-4854	http://www.nankai-katsuma.co.jp/
	(株)日本インシーク	名古屋市中区丸の内3-21-25(清風ビル6F)	052-951-3590	https://www.insiek.co.jp/
	日本工営(株)	名古屋市中区葵1-20-22(セントラル名古屋ビル9F、10F)	052-559-7300	https://www.n-koei.co.jp/
	日本工営都市空間(株)	名古屋市中東区東桜2-17-14(新栄町ビル)	052-979-9111	https://www.n-koei.co.jp/urbanspace/
	日本交通技術(株)	名古屋市中村区椿町14-13(ウエストポイント1413)	052-451-9111	https://www.jtc-con.co.jp/
	日本振興(株)	名古屋市中村区名駅5-27-13(名駅錦橋ビル5F)	052-562-1191	https://www.nihon-shinko.com/
	(株)日本水工コンサルタント	名古屋市中村区竹橋町5-10(オイセタウンビル7F)	052-451-2391	https://www.nissui.co.jp/
	(株)ニュージェック	名古屋市中区錦2-9-29(ORE名古屋伏見ビル4F)	052-310-0990	https://www.newjec.co.jp/
は	(株)パートナーズ	愛知県豊橋市三ノ輪町字本興寺41-1(CREST.1第1丸中ビル4F)	0532-39-9900	https://partners-tokai.com
	(株)ハイウェイ・エンジニアリング	名古屋市中区錦1-20-10(HR・NET伏見ビル6F)	052-232-1891	http://www.hw-eng.co.jp/
	パシフィックコンサルタンツ(株)	名古屋市中区名駅1-1-17(名駅ダイヤメイツビル)	052-589-3111	https://www.pacific.co.jp/
	(株)パスコ	名古屋市中区錦2-2-13(名古屋センタービル10F)	052-239-5140	https://www.pasco.co.jp/
	藤コンサル(株)	名古屋市中村区名駅3-22-8(大東海ビル)	052-433-1261	https://www.fuji-con.co.jp/
	不二総合コンサルタント(株)	浜松市中央区初生町889-2	053-439-6111	https://fujisougou.co.jp/
	(株)フジヤマ	浜松市中央区元城町216-19	053-454-5892	https://www.con-fujiyama.com/
	(株)復建エンジニアリング	名古屋市中区栄2-5-13(アイ・エスビル7F)	052-203-0651	https://www.fke.co.jp/
	(株)復建技術コンサルタント	名古屋市中区錦1-8-8(いちご錦ファーストビル5F)	052-222-6040	https://www.fgc.jp/
	復建調査設計(株)	名古屋市中東区葵2-12-1	052-931-5222	https://www.fukken.co.jp/
ま	(株)間瀬コンサルタント	名古屋市中村区名駅南1-16-28(EDGE名駅4F)	052-414-6020	https://www.masecon.co.jp/
	丸栄調査設計(株)	三重県松阪市大町102-2	0598-51-3786	https://maruei-c.co.jp/
	三井共同建設コンサルタント(株)	名古屋市中区丸の内3-20-3(BPRプレイス久屋大通7F)	052-953-1060	https://www.mccnet.co.jp/
	明治コンサルタント(株)	名古屋市中区大須4-10-32(上前津KDビル310号)	052-249-3720	https://www.meicon.co.jp/
	(株)メイホーエンジニアリング	岐阜県岐阜市吹上町6-21	058-253-8811	https://www.meihoeng.co.jp/
	(株)名邦テクノ	名古屋市中南区大磯通6-9-2	052-823-7111	https://www.meiho-techno.co.jp/
や	八千代エンジニアリング(株)	名古屋市中区新栄町2-9(スカイオアシス栄9F)	052-950-2150	https://www.yachiyo-eng.co.jp/
	(株)ユニオン	岐阜県岐阜市西河渡2-57	058-253-3190	https://www.theunion.co.jp/
わ	(株)若鈴	三重県津市広明町345-1(若鈴ビル)	059-226-4101	https://www.wakasuzu.co.jp/
	若鈴コンサルタンツ(株)	名古屋市中区中小田井5-450	052-501-1361	http://wakasuzuc.jp/

事務局だより



●【令和6年度中部支部定時総会】

令和6年度定時総会を4月22日(月)にKKRホテル名古屋で開催しました。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により大規模な災害が発生し、会員各社の皆様が支援活動を継続している中での開催となりましたが、多数の方々にご出席を賜り誠に有難うございました。

議事は「令和5年度の事業報告及び収支決算」、「令和6年度事業活動方針(案)」及び「役員補選(案)」について審議が進められ、審議の結果、原案どおり承認可決されました。

支部の活動報告では、副支部長及び担当部会長から「建設コンサルタントフェア」等の社会貢献活動の取組、対外活動への取り組みとして、中部地方整備局等の各発注者との「要望と提案」意見交換会の実施並びに大学等での業界説明会の開催等について、このほか愛知県・三重県・静岡県等の技術研修への講師派遣及び各部会・委員会の活動について報告されました。引き続き、令和6年度の事業活動方針(案)が提案され、採択をいただきました。

総会終了後、春期記念講演会として、「国土交通行政をめぐる最近の話題」と題して、中部地方整備局の渡邊技術調整管理官様、「ハチャメチャ役人人生を振り返り、これからの日本を考える」と題して、本部多田副会長様から講演をいただきました。

講演会も含めて長時間の開催となりましたが、業界紙3社の取材も受け、盛会のうちに滞りなく無事、終了することができました。会員の皆様にお礼申し上げます。

●【令和6年度における中部支部の7月以降の主な活動予定】

9月 2日	建コン協災害時対応演習
9月 9日	地方ブロック「要望と提案」意見交換会
10月22日	第34回業務技術発表会
10月20日	カルチャーセミナー
10月26日	建設コンサルタントフェア
11月28日・29日	建設技術フェア(学生ひろば)

なお、この他にも各委員会主催の講習会、見学会等を予定しております。事務局から会員企業の皆様に開催案内を差し上げますので、多数のご参加をお待ちしております。

【編集後記】

はじめに、リニア中央新幹線について2027年の開業が困難であることが発表され、新たな開業時期を示せないという状況となりました。個人的には、一刻も早く全線開通が実現することを望んでいます。未着工・工事中の区間については、地元自治体、住民と双方向のコミュニケーションを大切にしながら真摯に対応することを希望します。

話は変わりますが、『図夢in中部』も今回で、第53号となりました。

本号では、国土交通省三重河川国道事務所様にご協力をいただき、「国道23号中勢バイパス全線開通」と題し、事業化から約40年にわたる経済活動を支えるインフラの完成に際して事業経緯のほか、機能や効果について紹介していただきました。

我々建設コンサルタントがその責任と期待を大いに受け、誇りを持つと同時に、災害に強く持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていく必要性を改めて認識いたしました。

末尾となりましたが、今回の発刊に際しまして、ご執筆・ご協力いただきました皆様に、編集委員一同、心より感謝申し上げます。

(T.M)

【編集】対外活動部会編集委員会

部会長	横山 幸泰	(株)東京建設コンサルタント	委員	小嶋 貴之	(株) テイコク
副部長	津田 光則	八千代エンジニアリング(株)	委員	古川 真人	(株) アイエスシイ
編集委員長	伊藤 博之	(株) ニュージェック	委員	山下 達	中日本建設コンサルタント(株)
編集副委員長	坂本 憲二	中央復建コンサルタンツ(株)	委員	盛田 倫由	中央コンサルタンツ(株)
委員	瀧 高雄	(株) 葵エンジニアリング	委員	山口 洋毅	(株) 環境アセスメントセンター
委員	太刀掛泰清	セントラルコンサルタント(株)	委員	遠藤 徹也	大日本ダイヤコンサルタント(株)
			委員	大日川 靖	日本工営都市空間(株)

読者の皆様のご意見をお待ちしています。

◇読者アンケート

読者アンケートにご協力お願いします。あなたのご意見が「図夢in中部」を作ります。特に、本誌や建設コンサルタント支部活動への要望や提案など、個性的な意見を沢山お待ちしております。一般社団法人建設コンサルタンツ協会中部支部ホームページの「読者アンケート」までどしどしお寄せください。

●すべての応募先、お問合せは…

(一社)建設コンサルタンツ協会 中部支部 編集委員会

名古屋市中区丸の内一丁目4番12号(アレックスビル3F) TEL.052-265-5738 FAX.052-265-5739

ホームページ <http://www.ccainet.org/>
メール info@ccainet.org



JCCA

図夢 in 中部 Vol.53

発行日：2024年8月9日

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中部支部